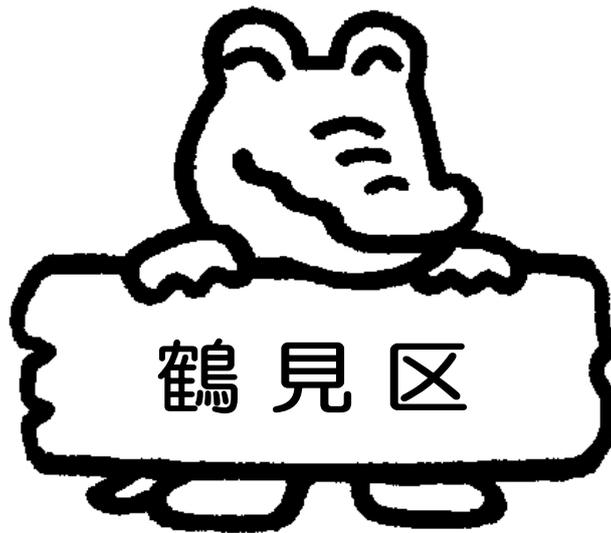


令和3年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

会議資料



令和3年9月7日

目 次

議題 1

令和 2 年度鶴見区個性ある区づくり推進費決算

..... P 1

議題 2

令和 2 年度個性ある区づくり推進費 自主企画事業費等決算について

..... P 3

議題 3

令和 3 年度個性ある区づくり推進費 自主企画事業費等執行状況について

..... P 40

議題 4

令和 4 年度鶴見区予算編成について

..... P 74

令和2年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算

(単位：千円)

区 分	予 算	決 算	差 引
自主企画事業費 区が独自に企画し、区が自ら執行する事業に係る経費	109,209	107,162	2,047
地域力の強化 (災害に強いまちづくり、地域のかやつながりを育むまちづくり)	32,337	31,331	1,006
区内経済・活力の向上 (多文化共生のまちづくり、鶴見の魅力を活かしたまちづくり)	35,384	21,588	13,796
子どもから大人まで安心・元気に (福祉のまちづくり)	19,796	16,988	2,808
区民サービスの向上 (おもてなしの気持ちあふれるサービス提供)	21,692	37,256	△ 15,564
一般管理費	790,390	785,072	5,318
統合事務費 区の事務・運営を行うために必要な経費	34,050	30,961	3,089
統合事業費 各区で共通している事業で区の裁量が少ない事業に係る経費	21,028	15,970	5,058
区庁舎・区民利用施設管理費 区庁舎・区民利用施設の管理運営に係る経費	735,312	738,140	△ 2,828
個性ある区づくり推進費 計	899,599	892,234	7,365

令和3年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

議 題 2

令2年度個性ある区づくり推進費
自主企画事業費等決算について

議題2 目次

	ページ
1 地域力の強化	
1 防災活動推進事業【重点】	5
2 放置自転車対策事業	8
3 交通安全推進事業	8
4 鶴見区防犯活動支援事業	10
5 自治会町内会振興事業	11
6 つるみ・地域の課題解決サポート事業	12
7 鶴見・あいねっと推進事業	12
8 「広げよう見守りの輪」推進事業	13
2 区内経済・活力の向上	
9 「千客万来つるみ」プロモーション事業	15
10 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	15
11 商店街魅力発信事業	18
12 鶴見区民まつり支援事業	18
13 地域文化・区民活動推進事業	19
14 区民スポーツ振興事業	20
3 子どもから大人まで安心・元気に	
15 ヘルスアッププラン【重点】	21
16 感染症対策事業	22
17 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	23
18 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業	24
19 つるみDE子育て応援事業	25
20 つるみの未来を育てる保育所事業	27
21 鶴見区虐待予防事業	29
22 生活衛生サポート事業	30
23 青少年健全育成事業	31
24 鶴見区脱温暖化行動推進事業	33
25 つるみクリーンタウン事業	34
4 区民サービスの向上	
26 鶴見区広報・広聴事業	38
27 発見つるみ！～データでみる鶴見区～	38
28 鶴見区人材育成推進事業	39
29 魅力ある区役所づくり事業	39

※ 本文では令和2年度決算について記載のうえ、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応の影響による変更点等を、◆（網掛け）で注記しています。

令和2年度個性ある区づくり推進費自主企画事業費等決算について

1 地域力の強化

事業名 (決算額)	事業概要
<p>1 防災活動推進事業【重点】</p> <p>予算(12,162,000円) 決算(16,591,110円) 差引(▲4,429,110円)</p>	<p>風水害、地震及び都市災害等に備え、地域における自助・共助の取組推進、地域防災拠点及び区本部機能の強化・維持、関係機関等との連携を促進し、防災力の向上を図りました。</p> <p>1 自助・共助推進事業 防災イベントや地域の研修会等の機会を捉えた防災啓発を実施するほか、地域における共助のための自主的な取組に対して補助金を交付しました。</p> <p>(1) 出前防災講座による啓発活動 実施：6～3月(8回) 会場：自治会町内会館、防災訓練会場、各ケアプラザ等</p> <p>(2) つるみっこ防災塾(小学校高学年向け防災教室) 実施：9～3月(6校) 内容：地域特性、ハザードマップの確認</p> <p>(3) 臨海フェスティバルにおける啓発活動 ◆実施中止。</p>
<p>【区配事業】地域の防災力を向上させる防災啓発事業 (総務局)</p> <p>1 防災・減災推進研修(支援編)の開催 総務局危機管理室の実施している防災・減災推進研修(基礎編)の受講者が研修で得た知識を町の防災組織に広める活動を支援するため研修を行いました。</p> <p>2 小学校向けの横浜市民防災センター見学会の実施 若年層における防災意識向上を図るため小学校と連携し、防災を学ぶ授業を支援するため、横浜市民防災センターの見学会を実施しました。</p>	

	<p>(4) 共助のための防災活動支援事業 地域防災力向上を目的として、共助のための自主的な活動を支援しました。(補助額最大 15 万円) 交付件数：9 団体</p> <p>(5) 地域防災拠点の運営力強化 地域防災の要である地域防災拠点の備蓄資機材の点検・修繕を行いました。また、地域防災拠点を担当する責任職(防災参与)の研修を行いました。 ア 地域防災拠点参与研修：5 月 イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5 月 ウ 地域防災拠点での運営訓練：9～2 月 ◆ア・イは書面開催に変更。</p>
<p>【区配事業】横浜市地域防災活動支援事業 (総務局) 地域防災拠点運営委員会の自主的な活動を奨励し、地域防災拠点の運営を円滑に行えるよう、助成金を交付しました。</p>	
<p>【区配事業】町の防災組織活動支援事業 (総務局) 大地震等の災害防止、軽減、予防のため、自治会町内会、共同住宅の管理組合等を単位として自主的に設置運営される、「町の防災組織」を支援するために補助金を交付しました。</p>	
	<p>(6) 鶴見川防災対策・啓発支援事業 ア 京浜河川事務所が主催する鶴見川防災情報講座の支援 実 施：9～10 月(全 3 回) 対 象：仲通一丁目自治会 20 名 イ 「まるごとまちごとハザードマップ」の管理 ウ 鶴見区水防協議会の水防資機材購入支援、鶴見川の防災機能整備促進・強化に向けた国への働きかけ。</p> <p>2 区本部機能等強化学業 実災害に対応するための区本部機能の強化を図りました。</p> <p>(1) 災害対応力及び区本部機能の強化 区役所職員の防災意識向上及び災害対応力強化の研修、区災害対策本部運営及び設営訓練を行いました。 区本部訓練：9 月 職員研修：7～8 月(全 3 回) ◆規模を縮小して実施。</p> <p>(2) 鶴見区防災計画の修正 令和元年台風 15 号、19 号をはじめ近年の風水害による被害を踏まえ、「鶴見区防災計画～風水害対策編～」を修正しました。</p>

(3) つるみ生活・防災マップ

ア つるみ生活・防災マップの発行

つるみ生活・防災マップを時点修正の上、増刷しました。

発行：12月

部数：17,000部

イ 多言語マップの作成【拡充】

外国人への防災啓発を図るため、つるみ生活・防災マップの多言語版を作成しました。

【統合事業】緊急時情報システム運用事業

災害等に関する緊急情報を、電話を利用して区から直接、防災・減災活動の核である地域の防災組織の長（自治会町内会長）に対して発信し、あわせて双方向機能を活用して受信状況を確認するシステムを運用しました。

3 災害時医療体制推進事業

迅速かつ適切な応急対応措置を講じるため、平時から関係機関・団体の連携・協力体制を構築しました。

(1) 区内医療機関などとの通信訓練

区役所(医療調整班本部)と区内医療機関、市医療局との間で、MCA無線※及び衛星携帯電話による通信訓練を実施しました。

実施：毎月（奇数月 区→区内医療機関等）

（偶数月 区→市医療局）

◆市医療局との訓練は6月まで中止。8月から再開。

※MCA無線：運輸・物流業務、バス運行業務、タクシー等で広く利用されている資格不要のデジタル簡易無線。

(2) 鶴見区災害医療連絡会議

行政と関係機関・団体の情報共有や意見交換を図りました。

開催：9月、12月、3月

構成員：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会、
済生会横浜市東部病院、汐田総合病院、佐々木病院、
平和病院、横浜在宅看護協議会、鶴見大学、
鶴見警察署、鶴見消防署、鶴見区社会福祉協議会、
鶴見区役所

◆書面開催に変更。

(3) 鶴見区災害医療訓練

鶴見区災害医療連絡会議の関係団体と地元町内会などが連携した災害医療訓練を実施しました。

実施：1月

会場：済生会横浜市東部病院、医療救護隊参集拠点（汐田総合病院、鶴見区休日急患診療所、平和病院）、鶴見区役所 など

◆鶴見区災害医療連絡会議の構成団体を中心とした通信訓練に限定して実施。

<p>2 放置自転車対策事業</p> <p>予算 (6,650,000 円) 決算 (5,711,180 円) 差引 (938,820 円)</p>	<p>駅周辺において、安全で安心なまちづくりができるように、自転車等放置防止推進協議会の円滑な活動を支援するとともに、放置台数の多い箇所を中心に放置自転車対策を継続して行いました。</p> <p>1 放置禁止区域内重点対策</p> <p>J R 鶴見駅、京急鶴見駅等において監視員を配置し、駐輪場の利用促進や放置禁止の呼びかけを行いました。また、局事業に加えて、区独自事業として土曜日 (月に一回程度) に、放置自転車の移動・撤去を実施するなど、柔軟な対策を行いました。</p> <p>・移動・撤去 実 施：土曜日 (月に一回程度) 回 数：延 10 日</p>
<p>【局事業】放置自転車等移動・撤去業務 (平日) (道路局)</p> <p>J R 鶴見駅・京急鶴見駅周辺を重点とし、区内 6 駅周辺の自転車等放置禁止区域内に放置されている自転車等の移動・撤去を行いました。</p>	
<p>【区配事業】自転車等放置防止監視員業務委託 (道路局)</p> <p>J R 鶴見駅・京急鶴見駅周辺を中心に、自転車等放置禁止区域内の自転車利用者に対して指導を行いました。</p>	
	<p>2 自転車等放置防止推進協議会への支援 各駅協議会の啓発活動を支援しました。 対 象：6 駅 (J R 鶴見駅・京急鶴見駅・生麦駅・鶴見市場駅・矢向駅・尻手駅) 補助金交付：7 月</p>
<p>3 交通安全推進事業</p> <p>予算 (2,298,000 円) 決算 (2,047,944 円) 差引 (250,056 円)</p>	<p>安全で安心なまちづくりに向け、交通安全の普及啓発活動を推進するとともに、子どもの交通事故防止のため、スクールゾーン内の安全を確保しました。</p> <p>1 交通安全啓発事業</p> <p>各季全国交通安全事業に合わせて取り組むとともに、警察署等関係機関と連携して、区交通安全対策協議会を運営し、講習会など効果的な啓発活動を展開しました。</p> <p>(1)交通安全運動</p> <p>実 施：各季運動 (4 月、7 月、9 月、12 月) 新入学児童・園児を交通事故から守る運動 (4 月) 強化月間運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーアップ (5 月) ・二輪車交通事故防止・暴走族追放 (6 月) ・違法駐車、放置自転車・バイク クリーンキャンペーン (10 月) ・飲酒運転根絶 (12 月)

(2) 区交通安全対策協議会の運営

ア 幹事会・区自治連合会交通部連絡協議会

実施：6月、9月

◆実施中止。

イ 総会

実施：3月

ウ 交通安全功労者表彰

区内における交通安全と事故防止及び啓発に貢献した人・団体を表彰しました。

実施：3月

(3) 交通安全講習会

ア はまっ子交通教室

会場：区内小学校 22校

イ チリリンスクール（自転車乗り方教室）

会場：区内小学校 22校、その他保育園・幼稚園

ウ 自転車事故防止の安全教室・講習会

会場：企業・団体、自治会・町内会など

◆ア・イ・ウとも9月以降に実施。

(4) 新入生児童向けランドセルカバーの制作

鶴見交通安全協会と協力して「ワックン」のイラスト入りランドセルカバーを制作し、令和3年度新入学児童に贈呈しました。

2 学校への支援

区内小学校 22校に設置しているスクールゾーン対策協議会を支援しました。また、土木事務所、警察署と協議・連携しながら、路面標示等の新設・補修・撤去を行いました。

◆7月以降に実施。

【区配事業】スケアードストレイト（※）方式による交通安全教室の実施委託
(道路局)

スタントマンが事故の再現を行い、自転車利用時のマナー向上を図る交通安全教室を実施委託。

※スケアードストレイト：恐怖を実感させることで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育

◆実施中止。

<p>4 鶴見区防犯活動支援事業</p> <p>予算 (2,238,000 円) 決算 (1,998,106 円) 差引 (239,894 円)</p>	<p>地域防犯力の向上のため、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援しました。</p> <p>1 防犯啓発活動 地域の自主防犯活動を支援しました。</p> <p>(1)犯罪発生情報の提供 パソコンや携帯電話のEメールにより、メーリングリスト登録者(区民)向けに犯罪発生情報を提供しました。</p> <p>(2)振り込め詐欺の注意喚起 警察や関係機関と連携しながら、啓発物品や広報媒体を活用し、区民への注意喚起を実施しました。</p> <p>2 子ども防犯活動支援事業 子どもを犯罪被害から守るため、支援を行いました。</p> <p>(1)子ども防犯教室の開催 子どもへの犯罪から身を守ることをテーマに、児童及び保護者を対象とした防犯教室を実施しました。 実 施：10～11月 会 場：馬場小学校、上寺尾小学校 対 象：3年生・6年生、8クラス</p> <p>(2)「子ども110番の家」のプレートの提供 実 施：8～9月 枚 数：100枚</p> <p>(3)児童下校時見守り活動 実 施：毎月10日(横浜市子ども安全の日) 参加団体：横浜市建設業協会鶴見区会、区役所、よこはま学援隊等</p> <p>◆4～6月実施分を中止。</p> <p>3 地域防犯活動支援事業</p> <p>(1)防犯パトロール活動支援事業 パトロール活動に必要な物品を希望する自治会町内会に防犯物品を提供しました。</p> <p>(2)防犯パトロール実施委託 事業委託により、児童の下校見守り及び振り込め詐欺発生抑止を目的として、下校時間帯に区内小学校周辺や振り込め詐欺多発地域を中心に、防犯パトロールを実施しました。 実 施：年24回(8～3月実施)</p>
---	---

	<p>(3)迷惑電話防止機器の貸与 振り込め詐欺対策のため、鶴見警察署・鶴見区自治連合会・鶴見区防犯協会・鶴見暴力団排除推進協議会と連携し、区内の高齢者世帯に迷惑電話防止機器を貸与しました。 購入台数：190台（区170台、自治連20台） 貸出台数：164台（2年度実績）</p>
<p>5 自治会町内会振興事業</p> <p>予算(2,037,000円) 決算(1,047,194円) 差引(989,806円)</p>	<p>地域活動の振興等に関連する行政や団体からの各種情報や依頼事項を自治会町内会に伝達しました。また、地域社会の振興に尽力された方々に対して、感謝状及び記念品の贈呈を行いました。</p> <p>1 地域振興連絡事業 区連会定例会後、自治会町内会に行政・団体からの情報や依頼事項等の資料配布を行いました。 実施：毎月（8月を除く） ◆令和2年4～5月、令和3年1～2月は書面開催。</p> <p>2 自治会町内会長感謝会 自治会町内会長・地区連合町内会長の永年在職者に対して感謝状及び記念品を贈呈しました。 実施：3月 感謝状対象：自治会町内会長5年 記念品対象：自治会町内会長5年毎、 地区連長町内会長10年毎 ◆感謝会は中止。感謝状及び記念品贈呈のみ宅配により実施。</p>
<p>【区配事業】自治会町内会館整備助成事業 (市民局) 自治会町内会が行う自治会・町内会館の整備に関する費用に対して、その一部を助成しました。</p>	
<p>【区配事業】地域活動推進費 (市民局) 自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援しました。 また、市政及び区政に対する協力活動に対する謝礼として、地区連合町内会長に報償費を交付しました。</p>	

<p>6 つるみ・地域の課題解決サポート事業</p> <p>予算 (3,000,000 円) 決算 (2,779,100 円) 差引 (220,900 円)</p>	<p>地域課題のうち、早急な解決が必要な事案等について、区として機動的な対応を行いました。</p>
<p>【区配事業】 元気な地域づくり推進事業 (市民局)</p> <p>地域の様々な課題解決に取り組む活動のきっかけづくりや、地域の各団体等が連携して、自主的・継続的に地域課題の解決に取り組む活動を支援しました。</p> <p>(補助内容)</p> <p>1 つるみ・地域のつながり応援事業補助金 自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携した地域課題解決の取組を支援しました。 (補助額:最大 30 万円、補助団体数:3団体)</p> <p>2 つるみ・元気アップ事業補助金 地域の課題解決に向けて、区民が自主的に取り組む活動の立ち上げを支援しました。 (補助額:最大 10 万円、補助団体数:2団体)</p> <p>3 協働の「地域づくり大学校」 地域や地域活動に関心のある区民と職員の相互交流やネットワークづくりを行うとともに、地域活動に関わるきっかけづくりや地域課題の解決・地域の魅力づくりに向けた実践的な内容を学ぶ場として、地域団体等との協働による連続講座を実施しました。(実施:11月～3月(全6回開催)、参加者:16人)</p>	
<p>7 鶴見・あいねっと推進事業</p> <p>予算 (2,984,000 円) 決算 (129,550 円) 差引 (2,854,450 円)</p>	<p>鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)に基づき、地域やボランティア団体等との協働により福祉保健を中心とした様々な地域課題の解決に取り組むものですが、新型コロナウイルス感染拡大により、大幅な事業縮小を行いました。</p> <p>1 第3期計画の推進 5か年計画として最終年度となる第3期計画の推進を行いました。</p> <p>(1)地区別計画の推進 地域と地区別支援チームが協働で取組を実施し、地域の福祉保健活動の一層の推進を図りました。</p> <p>会 場：区内地域ケアプラザほか 参加者：延約 100 人(令和元年度：延約 3,000 人) <地区別支援チーム> 連合町内会ごとの地区別計画推進の支援を行う、区福祉保健センターの専門職・区社協職員・地域ケアプラザ職員等で構成するチーム。</p>

	<p>(2) あいねっと推進委員会 区内福祉関係者等からなる推進委員会を開催しました。 実 施：7月</p> <p>2 第4期計画の策定（計画期間：令和3年度～令和7年度） 令和3年度から開始する第4期計画の策定を進めました。 ◆令和2年8月から令和3年3月まで策定進行を休止し、次年度へ延期。</p> <p>(1) 地区別計画の策定 地域と地区別支援チームの協働により、次期計画の策定を進めました。 ◆令和2年8月から令和3年3月まで策定進行を休止し、次年度へ延期。</p> <p>(2) 区計画策定検討会 次期区計画の策定を休止したため、検討会開催も見送りました。 実 施：なし ◆6月、11月及び2月のすべてを中止。</p> <p>(3) 区民意見の募集及び反映 計画素案の策定を休止したため、区民意見募集の実施も延期しました。 募集期間（予定）：令和2年10月～11月 ◆計画策定進行休止により、実施を延期。</p> <p>3 あいねっと推進フォーラムの開催 区計画の周知及び福祉保健活動への参加者を広げる目的で開催する予定でしたが、実施を中止しました。 実 施：3月 会 場：鶴見公会堂 参加者：約450人 ◆実施中止。</p>
<p>8 「広げよう見守りの輪」推進事業</p> <p>予算（968,000円） 決算（1,026,924円） 差引（▲58,924円）</p>	<p>ひとり暮らし高齢者や障害者など支援を必要とする人に対して、地域で日頃から見守り、緊急時や災害時にも役立つ支えあい関係づくりを進めました。</p>

1 定期訪問・見守り活動の拡充

生活に役立つ配付物を企画するなど、訪問・見守り活動の一助となる取組を充実させました。

また、救急医療情報キットを配布して、緊急時の迅速な対応に役立てました。さらに、新しい生活様式を踏まえた見守り活動を支援するため、民生委員・児童委員等の主な見守り活動者へ衛生用品（手指消毒液及びサージカルマスク）を配付しました。

定期訪問・見守り活動対象者数：2,832名（令和3年3月末現在）

◆令和2年8月から令和3年3月まで、配布チラシ等の企画を休止。

2 災害時要援護者支援の仕組みづくり

鶴見区では、災害時要援護者支援の取組が100%の自治会町内会で実施されており、126自治会町内会のうち32自治会町内会に同意方式、94自治会町内会に情報共有方式による名簿を提供し、地域の支え合いの取組に活用いただきました（3年3月31日現在）。

<同意方式と情報共有方式>

同意方式：個人情報の提供について同意があった方の名簿を民生委員に提供

情報共有方式：個人情報の提供について拒否の意思表示がない方の名簿を自治会町内会に提供

令和2年9月1日現在

	対象者数	名簿登載者数	名簿登載率
同意方式	2,758人	1,558人	約56%
情報共有方式	6,424人	5,759人	約90%
合計	9,182人	7,317人	約80%

<名簿に登載される要援護者>

- ・要介護3以上の方
- ・要支援以上のひとり暮らし高齢者
- ・障害者総合支援法のサービスの支給決定を受けている身体障害者、知的障害者、難病患者 など

2 区内経済・活力の向上

事業名（予算額）	事業概要
<p>9 「千客万来つるみ」プロモーション事業</p> <p>予算(8,000,000円) 決算(3,063,114円) 差引(4,936,886円)</p>	<p>地域の賑わいをさらに高めるため、鶴見区内の催事や点在する観光資源等を活かし、地域や企業等と連携して、集客プロモーション活動やイベントを実施しました。</p> <p>1 魅力づくりと区内外への発信 「地元の魅力の再発見」と「区内外への発信力の強化」に向けて、地域ポータルサイトの開設や外国語版デジタル観光マップの作成など、地域、団体、企業、大学等様々な主体とともに取り組みました。</p> <p>2 地域活性化イベントの実施 地域や団体、企業等との協働によって地域活性化に繋がるイベントを実施しました。</p>
<p>【区配事業】 Garden Necklace YOKOHAMA 2020 事業 (環境創造局)</p> <p>Garden Necklace YOKOHAMA 2020 開催に伴い、局と連携した事業を実施しました。</p> <p>「JR 鶴見線で巡る緑のスタンプラリー」 9月19日から27日まで</p> <p>参加人数：2,856人</p>	
<p>10 多文化のまち・つるみ推進事業</p> <p>【重点】</p> <p>予算(14,711,000円) 決算(12,959,145円) 差引(1,751,855円)</p>	<p>「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言」に基づき、外国人も日本人も暮らしやすい多文化共生のまちづくりを進めました。</p> <p>1 Facebookによる生活情報の発信 (1)外国人向けに行政情報や生活情報に関する情報提供を多言語で行いました。 対応言語：英語、スペイン語、ポルトガル語、やさしい日本語、中国語、ベトナム語、タガログ語</p> <p>(2)区庁舎（1階～3階）において無料Wi-Fiを提供しました。</p> <p>2 市民通訳ボランティアの配置 鶴見区で最も数が多い中国人の母語である中国語で、区役所業務や行政情報の案内等を行いました。 実施：週1回（金曜日）、9～17時 場所：区役所2階 戸籍課 ◆令和2年4月～令和3年2月は中止。令和3年3月のみ実施。</p> <p>3 多文化共生社会の実現に向けた啓発事業 ◆地域で多文化共生を理解し、推進するためのきっかけとなる区民向けの啓発事業については中止。</p>

4 鶴見国際交流ラウンジ運営事業【拡充】

外国人区民に対する相談対応や情報提供を行うとともに、区内の多文化共生を推進する取組を行いました。

◆4～5月は電話・メールによる相談対応のみ実施。6月から対面を実施。

◆教室やイベントは、実施方法等を変更のうえ6月から実施。

(1) 相談対応・情報提供

ア 7言語(英語、中国語、ハンガル、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語、日本語)による相談対応

イ 情報紙「鶴見国際交流ラウンジニュース」の発行

発行：7月発行分を最後に SNS での情報発信へ移行

ウ ホームページの運営

エ SNS を活用した情報発信【拡充】

(2) 各種教室の実施

ア 託児付日本語教室・暮らしのガイダンス

実施：14回 参加者：延 38 組

イ 学習支援教室

クラス	実施	参加者	内容
小学生	月 2 回	延 595 人	
中学生	月 4 回	延 731 人	日本語及び教科の他、人材育成研修の実施
夏休み宿題教室	5 回	延 263 人	8月に実施
中学3年生	8 回	延 124 人	11月～2月に実施

◆4～5月分は中止。小中学生学習支援教室は6月からオンライン教室を実施し、対面教室は7月中旬から実施。

ウ 外国人区民と日本人区民交流イベント

実施：5回 参加者：延 83 人

◆6月20日に実施予定であった3館オープンデー「サルビア わんぱく☆ランド」は中止。

エ 日本語ボランティア養成講座

クラス	実施	参加者	内容
入門講座	9 回	延 128 人	連続講座
ブラッシュアップ講座	4 回	延 124 人	

(3) 市民の多文化共生に関する活動支援

会議室や機材の貸し出し等、市民の多文化共生に関する活動場所を提供しました。(日本語教室、外国につながる子どもたちの学習支援、国際交流活動等)

◆4～5月は中止。6月から貸出を開始。

【区局連携促進事業】外国人の集住が進む3区の国際交流ラウンジ機能強化

(国際局)

外国人の集住が進む区(鶴見・中・南区)の国際交流ラウンジで、コーディネーターを配置し、地域の課題解決を図りました。

【区局連携促進事業】Wi-Fi設置など外国人向け情報発信の充実(国際局)

国際交流ラウンジにおける外国人へのおもてなし力を向上させるためのモデル的な取組として、鶴見国際交流ラウンジを外国人観光客・ビジネス客向けの情報発信拠点として機能強化しました。

- ・無料Wi-Fiサービスの提供
- ・ホームページにおける地域行事等の情報発信(6言語対応:英語、中国語、ハンガール語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語)

【局事業】日本語支援推進事業

(教育委員会事務局)

日本語指導が必要な児童生徒に対して、国際教室の設置をはじめ、母語による初期適応・学習支援、学校通訳ボランティア(保護者向け通訳)、日本語教室、プレクラス、学校ガイダンス、各種ガイドブックの発行等を行いました。

5 多言語対応推進事業【拡充】

区内の在住外国人数の増加や国籍の多様化に伴い、行政情報の提供に関する多言語対応を強化しました。

- (1)各課が個別に行っていた資料等の多言語翻訳を一括契約で実施。
- (2)多言語翻訳機の導入。
- (3)複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスの実施。

【局事業】区窓口等への翻訳・通訳機器配備の充実(国際局)

外国人にとって相談しやすい区役所となるよう、ICT機器の活用を拡充し、区役所窓口及び保育所をはじめとした区行政の様々な現場における対応力を強化しました。

【局事業】区役所窓口におけるタブレットを活用した多言語対応の実施

(国際局)

複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを全区で実施しました。

<p>11 商店街魅力発信事業</p> <p>予算(1,050,000円) 決算(665,704円) 差引(384,296円)</p>	<p>地域コミュニティの核である商店街が地域と連携しながら、商店街の魅力を発信することにより、商店街の振興と地域のにぎわい創出に結びつくよう支援しました。</p> <p>1 鶴見区商店街魅力発信支援事業補助 商店街と地域が連携した事業に補助金を交付し、支援しました。</p> <p>2 鶴見区商店街マップの増刷・配布 区内商店街を紹介する商店街マップを増刷し、配布しました。</p>
<p>【区配事業】商店街活性化イベント助成事業 (経済局) 商店街が行うイベントにかかる経費の一部を補助しました。</p>	
<p>【局事業】商店街環境整備支援事業 (経済局) 商店街の行う街路灯や防犯カメラ、駐車場、舗道等のハード整備にかかる経費の一部を補助しました。(新設・改修・撤去)</p>	
<p>【局事業】安全・安心な商店街づくり事業 (経済局) 商店街の街路灯の電気・ガス料金の一部を補助しました。</p>	
<p>12 鶴見区民まつり支援事業</p> <p>予算(3,700,000円) 決算(0円) 差引(3,700,000円)</p>	<p>鶴見区民のふるさと意識を醸成し、区民相互の交流や連帯を深めるために区民・団体が主体的に取り組む、三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル、つるみ臨海フェスティバルの2つの区民フェスティバルを支援するため、補助金を交付します。</p> <p>1 三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル 文化と環境に関心を持ち、三ツ池公園での出会いを大切に、地域社会を育てることを目的として、三ツ池公園周辺の自治会町内会を中心とした実行委員会の企画・運営により実施します。 実施：5月16日 会場：県立三ツ池公園 内容：模擬店、PR展示、ステージ発表 フリーマーケット、リサイクルPRイベント等</p> <p>◆実施中止。</p> <p>2 つるみ臨海フェスティバル 「みんなで創ろう つるみ臨海部」をテーマに、臨海部に親しみながら、誰もが楽しめるふれあいの場を区民に提供し、子どもから高齢者まで、安心して暮らしていける温かな地域社会、地域づくりを推進することを目的として、区内臨海部の自治会町内会を中心とした実行委員会の企画・運営により実施します。</p>

	<p>実 施：10月17日 会 場：入船公園 内 容：模擬店（飲食・展示等）、ステージイベント、 フリーマーケット、スポーツ・昔あそび体験等 ◆実施中止。</p>															
<p>13 地域文化・区民活動推進事業</p> <p>予算 (2,846,000 円) 決算 (2,451,327 円) 差引 (394,673 円)</p>	<p>区民に様々な文化活動の発表の場と、文化・芸術の鑑賞の機会を提供し、文化活動への関心を高め、地域文化の振興を図りました。また、区民の地域での活動を促進するため、活動を始めるきっかけとなる講座や担い手を育成する事業を実施しました。</p> <p>1 地域文化推進事業 鶴見区民文化祭への補助金交付を通じて、区民の文化活動を発表する場と文化・芸術に触れられる機会をつくりました。 実 施：10～12月 会 場：鶴見公会堂、サルビアホール、鶴見区役所ほか 参加者：延 1,524 人 内 容：郷土史展、作品展、邦楽のつどい等</p> <p>2 つるみ区民活動センター事業 区民のニーズや地域課題を把握し、区民活動等への支援を行うとともに、中間支援組織として区民利用施設間の連携・協力を促進しました。また、生涯学習・社会教育を推進するため、区民を対象とした学びの場を提供しました。</p> <p>(1)相談・コーディネート・機材貸出 ◆利用制限を実施。</p> <p>(2)情報提供・ボランティア登録 ア つるみ区民活動センター情報紙「あぶりお」発行 回 数：年6回（隔月） 部 数：延 8,250 部 ◆配架施設の休館に伴い、発行部数を減。 イ 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」登録</p> <p>(3)講座・イベント</p> <table border="1" data-bbox="549 1697 1423 2020"> <thead> <tr> <th>講座・イベント名</th> <th>実施</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習・社会教育推進講座「つるみ MACHI 塾」</td> <td>講義 6 回 ワークショップ 6 回</td> <td>延 200 人</td> </tr> <tr> <td>市民活動体験講座「つる楽たいむ」</td> <td>2 回</td> <td>延 17 人</td> </tr> <tr> <td>市民活動紹介展「鶴魅力」</td> <td>2 月</td> <td>延 500 人</td> </tr> <tr> <td>登録団体交流会</td> <td>3 月</td> <td>延 30 人</td> </tr> </tbody> </table>	講座・イベント名	実施	参加者	生涯学習・社会教育推進講座「つるみ MACHI 塾」	講義 6 回 ワークショップ 6 回	延 200 人	市民活動体験講座「つる楽たいむ」	2 回	延 17 人	市民活動紹介展「鶴魅力」	2 月	延 500 人	登録団体交流会	3 月	延 30 人
講座・イベント名	実施	参加者														
生涯学習・社会教育推進講座「つるみ MACHI 塾」	講義 6 回 ワークショップ 6 回	延 200 人														
市民活動体験講座「つる楽たいむ」	2 回	延 17 人														
市民活動紹介展「鶴魅力」	2 月	延 500 人														
登録団体交流会	3 月	延 30 人														

	<p>◆「つるみ MACHI 塾」、「つる楽たいむ」は日程延期・人数を縮小して実施。</p> <p>(4) 区民利用施設間の連携強化 区民利用施設が連携・協力し、よりよい区民活動支援の体制づくりを進めていくため、施設スタッフ向け研修会・意見交換会を実施しました。 実 施：2回 参加者：延 50 人</p> <p>3 読書活動推進事業 読書推進に関する講演会を開催しました。 実 施：3月（つるみ読書講演会）</p>
<p>【区配事業】 横浜市民の読書活動推進事業 (教育委員会事務局) 「第二次横浜市民読書活動推進計画」に基づき、令和元年度に「第二次鶴見区読書活動推進目標」を策定しました。</p>	
	<p>4 一時託児推進事業 鶴見区一時託児推進事業における保育協力者を新たに養成するため、保育協力者養成講座を開催しました。 実 施：10月 回 数：5回(連続講座) 受講予定者数：延 72 人</p>
<p>14 区民スポーツ振興事業</p> <p>予算 (1,050,000 円) 決算 (550,000 円) 差引 (500,000 円)</p>	<p>区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、区民スポーツ大会の実施などスポーツの普及・振興を進めました。</p> <p>1 鶴見区体育協会の活動支援 鶴見区体育協会が行う各種目別の区民大会の開催や情報提供の支援を行いました。</p> <p>2 鶴見区ランニングフェスタの開催支援 ◆実施中止。</p>
<p>【区配事業】 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成の取組 (市民局) ◆開催延期決定に伴い、スケジュール等について見直し。</p>	
<p>【局事業】 地区センターの工事 (市民局) ◇寺尾地区センター：天井改修工事・空調設置 ◇潮田・矢向地区センター：エレベーター更新工事</p>	

3 子どもから大人まで安心・元気に

事業名 (決算額)	事業概要
<p>15 ヘルスアッププラン【重点】</p> <p>予算 (4,027,000 円) 決算 (1,898,439 円) 差引 (2,128,561 円)</p>	<p>多くの区民が「健康」を意識し、積極的に健康づくりのための行動が起こせるよう、民間企業・関係団体等と連携し、健康に関する講座や啓発等の様々な事業を行いました。</p> <p>1 生活習慣病予防 (1)子育て世代への健康啓発 ◆子育てサロン等の場で、保護者向けに生活習慣病や健診・がん検診等について啓発を実施予定でしたが中止となりました。</p> <p>(2)運動普及啓発 区民が日常的に無理なく運動を取り入れられるように、媒体を活用しての啓発を保健活動推進員の会議や個別相談で行いました。</p> <p>2 ComeCome (噛む噛む) 元気大作戦! (歯科保健事業)【拡充】 (1)親子わくわく歯っぴい講座 親子を対象に、歯みがき実習や唾液検査による歯周病予防の啓発を行いました。 実施: 年9回 会場: 区役所 対象者: 0～1歳児と保護者 参加者: 193人 (96組) ◆4～6月実施分を中止。</p> <p>(2)歯周病・オーラルフレイル予防等啓発 ◆6月の「歯と口の健康週間イベント」で啓発を実施予定でしたが、中止となりました。 両親教室(月1回)の機会を通じて、啓発を実施しました。 また、ポップ媒体等を活用し、歯周病検診の周知を進めました。 ◆両親教室は4～6月実施分は中止。</p> <p>(3)鶴見大学・歯科医師会連携事業 子どもや保護者が、歯の健康についての知識と適切な歯磨き習慣を持てるよう、鶴見大学短期大学部歯科衛生科の学生の協力のもと、ワックンが登場する啓発のための絵本を作成しました。 物語は、区HPでダウンロードできるようにし、広く区民に周知しました。</p> <p>3 食育事業 (1)食育イベント及び食育研修会 ◆6月の「食育月間」や区内スーパーでのイベントで、食育に関する啓発と食育に携わる関係者を対象とした研修会を2月に実施予定でしたが、中止となりました。</p>

	<p>(2) 幼児の食育講座 ◆ 幼児期からの適切な食習慣の定着、基礎づくりを目指した講座を行う予定でしたが、個別相談に切り替え実施しました。 実施：年6回 対象者：1～2歳児と保護者 参加者：18人（36組）</p> <p>(3) 食育ミニ講座 ◆ 3歳児健診会場で、子どもや保護者が食について学ぶミニ講座をボランティアが実施する予定でしたが、乳幼児健診の集団指導の中止に伴い、ミニ講座も中止になりました。</p> <p>(4) 離乳食教室 健康福祉局予算で実施する離乳食教室について、定員を大きく上回る参加ニーズに対応するため、開催回数を増やして実施しました。 実施：年6回 対象者：7～9か月児と保護者 参加者：134人（68組） ◆ 4～6月、1～3月実施分を中止。</p> <p>4 鶴見区健康づくり推進会議 ◆ 区内の民間企業や関係団体と健康課題や健康づくりの取り組みを共有し、健康増進に向けた検討を行うため健康づくり推進会議を実施予定でしたが、中止となりました。</p>
<p>16 感染症対策事業</p> <p>予算（ 433,000円） 決算（ 1,030,690円） 差引（ △597,690円）</p>	<p>区内施設や区民が、適切に新型コロナウイルス等の感染症の予防や拡大防止に取り組めるよう研修及び啓発を行いました。 ◆ また、新型インフルエンザ等発生に備え、区職員を対象とした。研修及び訓練を行う予定でしたが、中止となりました。</p> <p>1 感染症対策 (1) 区内施設向け啓発 新型コロナウイルスやインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の知識や発生時の対応方法について、関連施設に情報提供しました。 対象：保育所、幼稚園、高齢者・障害者施設</p> <p>(2) 感染症対策指導者養成研修 ◆ 感染性胃腸炎等の患者発生時の初期対応を中心に講義や実習を行う予定でしたが、集合研修ではなく書面にて実施しました。 実施：11月（1回） 対象：保育所、幼稚園、学校、高齢者・障害者施設</p>

	<p>2 新型インフルエンザ等対策</p> <p>(1) 区民向け啓発 新型コロナウイルス感染症の予防について、ポスター等で啓発を行いました。 実施：通年 会場：区役所等</p> <p>(2) 区職員向け研修・訓練 ◆新型インフルエンザ発生時の職員対応についての講義と庁舎活用訓練を実施予定でしたが、中止となりました。</p>
<p>17 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業</p> <p>予算 (678,000 円) 決算 (517,547 円) 差引 (160,453 円)</p>	<p>障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めました。</p> <p>1 鶴見区地域自立支援協議会の推進 障害児・者が地域で生活していくことを支援する相談機関が情報・課題の共有、支援の向上を図るための協議会を開催しました。また、協議会を活用して、関係機関職員等の質の向上に資するための研修を実施しました。</p> <p><構成員> 基幹相談支援センター、地域活動ホーム、精神障害者生活支援センター、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、養護学校、地域ケアプラザ等 80 機関(令和 2 年度時点)</p> <p>(1) 会議 ・代表者会議：年 1 回 ・担当者会議：年 2 回 このほか、専門部会 3 部会 (相談・権利擁護・精神保健福祉) を 15 回開催しました。 ◆担当者会議を 1 回、専門部会を 4 回中止しました。</p> <p>(2) 研修 関係機関職員等の知識・技術の向上やネットワークの構築を図り、業務やケース支援等に生かしていくための研修を実施しました。 実施：年 3 回 ◆研修を 1 回中止しました。</p> <p>2 障害理解の推進 障害者週間に合わせたイベントの実施や福祉施設の自主製品等の PR、障害特性を知るための情報を提供すること等により、区民の意識啓発に繋がりました。</p>

	<p>(1)障害者週間イベント ◆「鶴見区障害児者団体連合会」と協働で行う予定でしたが、福祉施設の自主製品の販売や街頭での啓発活動は見合わせ、施設等紹介パネルの展示を行いました。 実 施：12月（障害者週間前後の1週間） 会 場：区役所1階ロビー等</p> <p>(2)啓発グッズの作成【新規】 ◆障害特性を知ってもらうための啓発用グッズを作成し、イベント等の機会を活用して配布する予定でしたが、作成は見合わせました。福祉施設の自主製品PR用DVDを製作し、区役所内で上映を行い、障害理解への啓発に繋がりました。</p> <p>3 専門職のスキルアップ研修の実施 社会福祉や保健師等の専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を向上させるための研修を実施しました。 実 施：年7回 参加者：延124人</p>
<p>18 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業</p> <p>予算(1,840,000円) 決算(807,152円) 差引(1,032,848円)</p>	<p>高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、認知症対策や介護予防について啓発事業を行いました。特に、オーラルフレイル予防の推進に向け、歯科受診勧奨等について個別通知を行いました。</p> <p>1 認知症普及啓発事業 (1)認知症予防の人材育成研修 地域で認知症予防活動を行っている支援者に対して、認知症の人と一緒に参加する「スリーA認知症予防教室」を実施し、プログラムを紹介しました。 【R2実績：11月2回（寺尾、馬場）、12月1回（駒岡）⇒参加者合計37人】</p> <p>(2)認知症体験型講座 ◆キャラバン・メイト等のフォローアップを目的とするVR（バーチャル・リアリティ）を利用した体験型の講座を2月に実施予定でしたが、中止。</p>
<p>【区配事業】認知症支援事業 （健康福祉局）</p> <p>認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り良い環境の中で暮らし続けられるように、医療との連携、介護サービスの適切な提供を推進するとともに、地域の見守りやサービス等を含めた切れ目のない支援体制の構築を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徘徊認知症高齢者SOSネットワーク ・認知症初期集中支援チーム ◆4～5月実施分の月例会議を中止。6月より活動再開。 ・認知症に関する普及啓発（認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイトの育成等） 	

	<p>2 介護予防事業【拡充】</p> <p>70歳の高齢者に横浜市歯周病検診（無料）の受診勧奨とオーラルフレイル予防に関する情報を個別通知しました。また、啓発媒体については鶴見区歯科医師会と連携し作成しました。</p> <p>通知時期及び方法：7月、郵送にて発送</p> <p>対象者：区内70歳の高齢者 3,421人 受診者数：155人</p> <p>検診期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日</p>
<p>【区配事業】一般介護予防事業 (健康福祉局)</p> <p>住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できることを目的に介護予防事業を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気づくりステーション事業 ◆4～5月実施分を中止。6月より活動再開 ・地域リハビリテーション活動支援事業 ・介護予防普及啓発事業 (口腔機能向上、ロコモ予防、ひざ痛体操指導者研修等) ◆9月開催予定の介護予防普及啓発講演会は中止 	
<p>【区配事業】地域包括ケアの推進 (健康福祉局)</p> <p>横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区行動指針に基づき、鶴見区の地域包括ケアシステムを推進します。</p>	
<p>19 つるみ DE 子育て 応援事業</p> <p>予算 (3,315,000円) 決算 (3,308,762円) 差引 (6,238円)</p>	<p>妊娠中から継続した関わりで、家庭・地域の育児力をアップし、子育て支援の充実と、安心して子育てができる環境を整えました。</p> <p>1 地域育児教室 原則第1子の0歳児と保護者を対象に月1回程度開催しました。</p> <p>実 施：141回 会 場：地区センター、地域ケアプラザ等21か所 参加者：延 2,800人程度</p> <p>◆4～6月実施分を中止。7月から一部を除き再開。</p> <p>2 親子の居場所普及事業 親子が気軽に立ち寄れる、親子の居場所「ふらっとる一む」の運営を支援しました。</p> <p>実 施：50か所</p> <p>3 子育て応援情報冊子作成 子育てに関する情報誌「つるみ区子育て応援ガイドブック」を発行しました。</p> <p>部 数：10,000部</p>

- 4 多言語窓口子育て支援事業
 多国籍の区民に丁寧な案内ができるように、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語の6か国の外国語版様式記入例や案内等を作成するとともに、母子手帳説明動画の外国語版（英語、中国語、スペイン語）を作成しました。
- 5 区長表彰事業
 スポーツ・文化の分野において、顕著な功績又は優秀な成績を収めた児童・生徒に対して区長表彰を行いました。
- 《2年度実績》
 個人16名、団体14団体
 表彰対象基準：
 ・国際コンクール等への出場
 ・全国コンクール等への出場
 ・関東コンクール等での3位以内の入賞
 ・スポーツ、文化の分野での特に顕著な功績
- 6 鶴見区放課後児童健全育成事業に向けた人材育成研修事業
 事業者及び職員に対し、児童の安全で安心な放課後の提供のために人材育成研修を開催しました。
 ・放課後児童健全育成事業所 49か所（令和2年度）

【局事業】乳幼児一時預かり事業 （こども青少年局）
 養育者のリフレッシュを主な目的にした事業です。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。

【局事業】親と子のつどいの広場 （こども青少年局）
 育児にかかわる心身の負担軽減等を図るため、親子の交流や集いの場の提供、情報提供、一時預かりを行う事業です。区内には「はなはなひろば」「キッチン」「こまーま」があります。
 ◆4月から休館。6月から順次再開。

【区配事業】地域子育て支援拠点事業 （こども青少年局）
 未就学児の親子を対象に、遊びや交流スペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う拠点として「わっくんひろば」を設置しています。29年3月に区内2か所目の施設として、「わっくんひろばサテライト」を開設しました。
 ◆4月から遊び場や交流スペースは休止。相談業務のみ継続。6月から予約制にて再開（人数制限あり）。

【区配事業】横浜子育てサポートシステム

(こども青少年局)

子どもを預かってほしい人と預かれる人が会員登録をして預かりなどの子育てニーズに対応する事業です。24年10月より子育て支援拠点「わっくんひろば」が事務局を担っています。

【局事業】産前産後ヘルパー派遣事業

(こども青少年局)

妊娠期または産褥期(5か月未満)にあつて、日中に家事育児の支援を受けられない方にヘルパーを派遣し、育児不安や心身の不調による家事育児負担の軽減を図りました

20 つるみの未来を
育てる保育所事業

予算(3,800,000円)
決算(2,831,941円)
差引(968,059円)

園庭開放など、市立保育所資源を活用した子育ての応援や、区内保育施設等職員に対して保育の質向上を図るための研修を実施しました。

また、区内の保育所等一覧やマップを作成し、保育所等の利用申請等にあたり、分かりやすく案内をすることで、利用者の利便性向上に繋がりました。

1 保育士確保推進事業

保育士不足に対応するため、包括連携協定に基づき、鶴見大学短期大学部保育科等の学生向けに区内保育所の魅力PRを行ったほか、潜在保育士の掘り起こしの視点から、地区センターにおける広報活動を行いました。

チラシ・クリアファイルの作成

部数：チラシ1200部 クリアファイル500部

2 保育所多文化共生事業

市立保育所が中心となって、区内の保育施設等と一緒に多文化共生研修の実施や、多文化理解のためのグッズ作成等を行いました。また外国籍の家庭がすみやかに保育所の利用申請ができるよう多言語版の申請書記入例等を作成しました。

(1) 多文化研修

実施：3月 方法：Zoom 参加者：30人程度

(2) 絵本作成

発行：3月 部数：200部

(3) 多言語版申請書等記入例作成

実施：9月

3 保育所資源活用事業

(1) 市立保育所園庭開放

市立保育所の園庭を地域の親子に開放しました。また有償ボランティアを配置し、育児相談等に対応することで市立保育所を活用した育児支援を充実しました。

会場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

◆4～6月は園庭開放等中止。7月から再開。

【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業

(こども青少年局)

保育の質向上研修を行いました。また、区内を7か所のエリアに分け、市立保育所を中心に認可保育所や横浜保育室などの保育資源とともに地域子育て支援イベントや交流会は実施中止しました。

◆一部、実施中止。

(2)保育所地域ふれあい事業

市立保育所において、地域ふれあい会を開催し、生ごみ処理機で作った堆肥で育てた野菜を用いたランチ会などを通して、園児と地域の方々との交流を図るものです。

実施：6月～2月(年数回/園)

会場：市立保育所4園

対象者：園児及び地域の方々

◆実施中止。

4 保育・教育施設職員研修事業

(1)運動指導研修

会場：鶴見区スポーツセンター

参加者：23人

対象者：市立保育所、民間認可保育所、横浜保育室
小規模保育事業、幼稚園

5 図書を活用した地域子育て支援事業

市立保育所を会場にして、子育て中の親子向けに絵本の読み聞かせなどのイベントを行うことや、絵本等の貸出を行うことで育児支援や読書の機会の増大に繋がりました。

会場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

6 鶴見区保育所等一覧・マップ等作成

認可保育所、地域型保育事業、認定こども園及び横浜保育室の定員、保育時間等及びその位置を周知するため、鶴見区の保育所等一覧・マップ等を発行しました。

実施：9月、3月

部数：11,000部

【局事業】保育所の運営

(こども青少年局)

令和2年4月開所の認可保育所は5園、小規模保育事業所は3園です。これにより、区内の保育所等は、106園となりました。

<p>21 鶴見区虐待予防事業</p> <p>予算 (2,647,000 円) 決算 (3,476,832 円) 差引 (△829,832 円)</p>	<p>子育てに関する負担を軽減し、児童虐待やDV（ドメスティクバイオレンス）の予防を目指しました。</p> <p>1 親支援講座 子どもとのコミュニケーション学習を目的とした講座と講演会、支援者向け研修会を開催しました。</p> <p>(1) 講座 実 施：年2回（11月・3月） 対 象：0～3歳児の保護者 内 容：子どもとのコミュニケーションのとり方や、効果的な伝え方・ほめ方をチラシを用いて伝えました。</p> <p>(2) 講演会 実 施：9月 対 象：2歳前後の児を持つ保護者 内 容：イヤイヤ期への対応を中心とした講義</p> <p>(3) 支援者向け研修会 実 施：2月 対 象：育児支援関係施設職員等 内 容：虐待予防に関する知識の共有</p> <p>(4) 啓発用リーフレットの作成（1歳児用）</p> <p>2 専門家相談 子育て中の親の不安を軽減するため、臨床心理士や児童精神科医師、弁護士による相談を行いました。 実 施：臨床心理士による相談（年43回） 弁護士による相談（年8回） 精神科医師等による相談（年6回）</p> <p>3 虐待予防小中学校等出張講座 潮田中学校3年生を対象に「自分を大切にする」をテーマにした性教育を実施しました。また、助産師を講師に中学校養護教諭・学校カウンセラーとともに、性教育について意見交換を行いました。 実 施：中学校3年生対象（1校） 性的接触、性感染症予防、避妊など</p>
--	--

【区配事業】 児童虐待予防啓発地域連携事業 （こども青少年局）

児童虐待防止の地域への啓発を行うと共に、関係機関への研修や職員を対象にした専門研修を行い、虐待対応のスキルアップを図りました。

【局事業】産後母子ケア事業

(こども青少年局)

虐待のリスクが高い母子を対象に、助産所等が、デイケア及びショートステイを行い ①お母さんのケア ②赤ちゃんのケア ③その他指導相談等を行う、養育支援を目的にした事業です。市内8か所の助産院で実施しました。

22 生活衛生サポート事業

予算 (991,000 円)
決算 (850,924 円)
差引 (140,076 円)

食中毒などを未然に防止するため、食品・環境衛生に関する最新の情報提供や啓発を行うとともに、犬猫の適正飼育に関する啓発やねずみ駆除の支援などを行い、区民が安全・安心に快適な生活が送れるようサポートしました。

1 食品衛生関係事業

(1) ノロウイルスによる食中毒の予防

発生を未然に防止するため、高齢者施設、保育所、病院、ホテルなどを重点対象施設として立入指導や啓発資料の送付を行います。また、食事サービスを実施しているボランティア団体や食品提供を伴う行事を行う団体などに対し出前講座や手洗いチェッカーの貸出しなど衛生管理の支援を行いました。

対 象：①重点対象施設の調理施設

②食品提供を行うボランティアや地域の団体

(2) 食肉を原因とした食中毒の発生防止

食肉を生食又は加熱不十分な状態で喫食することによる腸管出血性大腸菌 (O157 等)、カンピロバクターなどによる食中毒の発生防止のため、関係施設への立入指導や講習会などによる啓発を行いました。

対 象：食品関係営業施設、一般消費者

(3) HACCPによる衛生管理手法の導入に向けての支援

HACCP (衛生管理計画) の完全義務化に向けて、制度の周知や必要な衛生管理手法の紹介などを行い、円滑な導入を図りました。

対 象：食品関係営業者

2 環境衛生関係事業

ねずみ及び衛生害虫などによる健康被害の未然防止のための啓発、駆除相談、駆除機材の貸出などを行い、自主防除の支援を行いました。

3 人と動物の共生推進事業

人と動物が共に快適に暮らせる街づくりを推進するため、次の事業を行います。

	<p>(1)動物介在活動ボランティア支援事業 高齢者施設などに犬猫を連れて訪問活動を行うボランティア支援のため、参加する動物及び飼い主の審査会を開催しました。 実 施：11月 対象者：区民ボランティア 参加者：11名（うち新規参加希望者：3名（犬3頭））</p> <p>(2)犬猫の適正飼育の啓発 犬猫の飼い主マナー向上のため、適正な飼育方法の啓発を行いました。あわせて災害時に備えたペット対策の啓発を行いました。</p> <p>ア 適正飼育講習会の開催 実 施：8月 テーマ：災害時ペット対策 対象者：区民100人 ◆実施を2月に延期。</p> <p>イ 地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発 （パネルなど展示・説明） 対象者：区民、各地域防災拠点運営委員会 ◆各地域防災拠点訓練が中止されたため、実施中止。</p> <p>ウ 災害時ペット対策パンフレットの印刷 部 数：1,000部</p> <p>(3)飼い主のいない猫対策事業 飼い主のいない猫によるふん尿など被害の軽減のため、機材の貸出しや地域の取り組みを支援しました。</p> <p>ア 超音波式ねこ被害軽減機貸出 イ 地域が取り組む飼い主のいない猫対策の支援</p>
<p>23 青少年健全育成事業</p> <p>予算(2,013,000円) 決算(1,286,434円) 差引(726,566円)</p>	<p>青少年の健全育成を図る団体を支援し、健全育成を推進しました。また、地域社会において青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、地域の輪を広げる取組を実施しました。</p> <p>1 青少年交流活動推進事業</p> <p>(1)鶴見区子どもサマーキャンプ事業 ◆実施中止。 (参考)小学生の自然体験活動の機会の充実と異年齢交流の促進のため、主催の鶴見区子ども育成会連絡協議会に対し補助金を交付します。また、本事業を通じて、中高生からなる鶴見区ジュニアリーダーズクラブの育成を支援します。</p> <p>(2)青少年育成サイエンス交流事業 横浜サイエンスフロンティア高校と連携し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と高校生との異年齢間交流により、ともに育ち合う機会を創りました。 実 施：11月</p>

- 2 つるみ子育て・個育ちフォーラム支援事業
「つるみ子育て・個育ちフォーラム」の開催に向け、区内の青少年に関わる団体・機関からなる運営委員会に対し、補助金を交付しました。
実施：11月
- 3 青少年の居場所運営支援事業
地域・団体等による青少年の居場所運営の取組に対し、補助金を交付しました。

【局事業】よこはま東部ユースプラザの運営補助 (こども青少年局)

地域において不登校やひきこもり状態などにある青少年（15歳～39歳）の自立を支援する「地域ユースプラザ」の運営費を補助します。

(事業内容)

地域における総合相談（電話相談、来所相談等）、ひきこもり状態からの回復期にある青少年の居場所の運営、社会体験や就労体験プログラムの実施、地域の関係支援機関・区役所とのネットワークづくり、応援パートナーの養成、派遣等

【局事業】ひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談 (こども青少年局)

青少年相談センター所管の補助事業として、全区展開しています。鶴見区では東部ユースプラザの地域連携相談員が、毎月2回（第2・第4の水曜日午後）、区役所で相談支援を行います。

支援対象者は横浜市在住で、ひきこもり等の困難を抱える若者15歳から39歳の方とその家族です。

<相談までの流れ>

受付方法：事前に電話等で予約

相談時間：13：30～16：20（各50分・3枠）

当日受付：鶴見区役所3階 こども家庭支援課4番窓口

◆4～6月実施分(6月14日まで)を中止。

【区配事業】寄り添い型生活支援事業 (こども青少年局)

◇つるみ元気塾

生活困窮や養育困難等の課題を複合的に抱えた世帯の小中学生に対して、自信・達成感・肯定感をもたせ、円滑な学校生活を送るための支援・生活体験・総合的な支援を行う支援施設「つるみ元気塾」を運営し、必要な支援等を行います。

【区配事業】寄り添い型学習支援事業

(健康福祉局)

◇つるみ未来塾 (中学生対象)

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある子どもたちの将来の自立に向けた基盤づくりのため、中学1～3年生を対象に高等学校等への進学に向けた学習支援を行いました。

◆4～5月実施分を中止。

◇つるみプラス (高校生世代対象)

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある高校生の中途退学防止のための居場所づくり事業を行います。また、高校生世代(概ね15歳から18歳)の子どもを対象に、社会生活に必要な情報や体験の機会を提供する事業を行いました。

◆高校生の中途退学防止のための居場所づくり事業は、4～5月実施分を中止。

◆社会生活に必要な情報や体験の機会を提供する事業は、4回のうち2回を中止。

24 鶴見区脱温暖化行動推進事業

予算 (1,152,000 円)

決算 (674,123 円)

差引 (477,877 円)

地域、事業者、区民活動団体との連携を一層強め、省エネや脱温暖化行動を推進しました。

1 脱温暖化行動PR事業

(1) 鶴見区エコライフチャレンジ

環境行動に興味をもってもらい、日常生活においてできる範囲で環境行動を実践するためのきっかけづくりを目的に、脱温暖化・3R夢行動の紹介、普及啓発を行いました。

(2) 企業等と連携した区内小中学校向け出張授業・工場見学

民間企業等が実施する環境や社会をテーマとした出張授業・工場見学の内容を冊子「鶴見区 企業の出張授業と工場見学の手引き」として取りまとめ、区内の小中学校に配布し、授業での活用を促しました。

(3) 地域での啓発活動

◆「親子で学ぼう!つるみエコ・クッキング教室」は中止となりました。また、地域での各種イベントの中止に伴い、イベントを通じた温暖化対策に係るPR活動も見合わせました。

2 鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議

実施:6月

	<p>3 緑のカーテン事業 緑化や省エネ化の促進のため、引き続き、区庁舎及び土木事務所の緑のカーテン、並びに区庁舎の壁面緑化を実施しました。</p> <p>(1)緑のカーテン 実 施：5～12月 場 所：区庁舎2階警察署側窓（戸籍課前）、土木事務所</p> <p>(2)壁面緑化 場 所：区庁舎1階警察署側壁面</p>
<p>【温暖化対策プラス事業】区民利用施設照明設備LED化事業 (温暖化対策統括本部)</p> <p>区民利用施設（地区センター）の照明設備をLED化することにより、温室効果ガス排出量を削減し、地球温暖化対策に取り組みました。 ◇対象施設：寺尾地区センター</p>	
<p>25 つるみクリーンタウン事業</p> <p>予算 (2,927,000 円) 決算 (2,203,124 円) 差引 (723,876 円)</p>	<p>横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ3R夢（スリム）プラン」の目標である3R、特にごみと資源のリデュース（発生抑制）による脱温暖化を推進するため、普及・啓発活動を区民と共に推進しました。</p> <p>1 ヨコハマ3R夢推進事業 食品ロスをはじめとしたリデュース（発生抑制）の取組や土壌混合法による生ごみ削減、3R環境学習などの普及、啓発を進めました。</p> <p>(1)ヨコハマ3R夢の啓発キャンペーン活動 区民まつりやその他イベントなどで啓発活動を行います。</p> <p>ア 区民まつり (ア)三ツ池公園フェスティバル(5月) ◆実施中止。</p> <p>(イ)つるみ臨海フェスティバル(10月) ◆実施中止。</p> <p>イ その他イベント つるみ夢ひろば in 総持寺(11月) ほか ◆実施中止。</p> <p>ウ フードドライブの実施 (ア) 区役所 食品回収箱の常設 (イ) 町内会との連携</p>

(2) 3R環境学習事業

次代を担う子どもたちの3Rや環境に対する意識を高めるため啓発を行いました。

会 場：区内小学校

(3) 生ごみ堆肥化普及事業

生ごみの減量を目的とした環境にやさしい土づくり（土壌混合法）の普及を、区民講師の講習会などによって進めました。

ア 定期的な講習会の実施

実 施：年12回

会 場：鶴見区役所区民ホール

参加者：延120人

◆実施中止。

イ 出前講習会

実 施：年3回

会 場：馬場花木園

(4) 鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議

実 施：6月

<24-2 (P.33) 再掲>

(5) 在住外国人支援活動

在住外国人に対するごみと資源物の分け方・出し方のルール周知のためチラシ配布を行いました。

2 鶴見区クリーンアップ事業

地元団体（自治会町内会、老人会、企業、学校等）による地域清掃を支援し、また、不法投棄防止の啓発や喫煙禁止地区等のマナー啓発を実施しました。

(1) 鶴見クリーンキャンペーン

区内に所在する企業・団体等に一斉清掃活動を呼びかけ、ごみ袋・軍手の配布等を行い、活動支援をしました。

実 施：6～7月・10～11月（年2回）

◆6～7月実施分を中止。

(2) まちかど花壇事業

鶴見区を「明るく、きれいな街」にするため、「まちかど花壇」を整備します。また、整備にあたり協力団体を募集し、実施しました。

実 施：春・秋（年2回）

◆春の実施分を中止。

	<p>(3) 鶴見川クリーンキャンペーン 鶴見川桜・緑化実行委員会主催で、鶴見川流域の清掃及び桜等の緑化保全を実施しました。 実施：6月、10月（年2回） ◆6月実施分を中止。</p> <p>(4) 喫煙マナー啓発事業 鶴見駅周辺（喫煙禁止地区）や生麦駅周辺等において、ポイ捨て禁止や歩きたばこ禁止といった喫煙マナー啓発に加え、受動喫煙防止の視点も加えた啓発活動を福祉保健課と連携して行います。 実施：（年9回） 場所：鶴見駅、尻手駅、矢向駅、鶴見小野駅、生麦駅 ◆実施中止。</p> <p>(5) 不法投棄防止啓発活動 地域の不法投棄多発場所への警告プレート設置を行いました。</p>
	<p>【局事業】 不法投棄防止対策事業 （資源循環局） 不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行いました。</p>
	<p>【区局連携事業】 鶴見駅西口周辺環境改善事業 （資源循環局） 鶴見駅西口トイレの建て替えを行いました。</p>
	<p>(6) 道路ふれあい月間 鶴見駅周辺地域で、地域の方や周辺事業者と協働し、打ち水や大規模な一斉清掃、道路PR活動を行います。 ◆実施中止。</p>

道路局・環境創造局の主な局事業及び区配事業

【局事業】 踏切対策 （道路局）
「横浜市踏切安全対策実施計画」（平成28年3月）に基づき、生見尾踏切及び古市場踏切等の安全対策を進めました。

【局事業】 末吉橋架替事業、（仮称）鶴見川人道橋整備事業 （道路局）
末吉橋架替事業は、関係機関との協議を行いながら護岸改良工事や仮橋設置工事を進めました。
末吉橋と新鶴見橋の間の新たな人道橋整備については、令和2年度も引き続き、調査・設計や河川管理者との協議を進めました。

【局事業】無電柱化推進事業

(道路局)

災害時の救援活動や応急復旧を速やかに展開できるよう、緊急輸送路である環状2号線や鶴見溝ノ口線において無電柱化を進めました。

【区配事業】公園再整備事業

(環境創造局)

整備後一定期間が経過している本山前桜公園及び駒岡第三公園について、再整備工事を実施しました。

【区配事業】公園施設改良事業

(環境創造局)

日東浜公園ほか 10 公園について、遊具やベンチなどの施設改良工事を実施しました。

【局事業】下水道整備工事

(環境創造局)

第Ⅱ期再整備区域である矢向地区及び末吉地区で下水道の再整備工事を実施しています。

4 区民サービスの向上

事業名（予算額）	事業概要
<p>26 鶴見区広報・広聴事業</p> <p>予算 (2,869,000 円) 決算 (3,721,443 円) 差引 (▲852,443 円)</p>	<p>区民のライフスタイルの多様化に応え、必要な情報が的確に届くよう様々な媒体を活用し、多角的な広報事業を展開しました。また、区民ニーズや地域の課題を把握し区政運営に反映させることを目的に広聴事業を展開しました。</p> <p>1 ホームページ等その他広報事業 (1) 区ホームページを管理運営し、各種情報を発信しました。</p> <p>(2) 地域情報紙を活用した情報提供を行いました。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、状況に合わせた特別広報を6回にわたり実施しました。</p> <p>2 「つるみ生活・防災マップ」発行事業 つるみ生活・防災マップを時点修正の上、増刷しました。 発行：12 月 部数：17,000 部</p> <p style="text-align: right;"><1-2 (3) (P.7) 再掲></p> <p>3 広聴事業 横浜市の広聴制度に基づき、区民や地域の声を収集しました。 広聴受付件数〔令和2年度：734 件〕</p>
<p>27 発見つるみ！～データでみる鶴見区～</p> <p>予算 (799,500 円) 決算 (398,650 円) 差引 (400,350 円)</p>	<p>鶴見区に親しみを持っていただけるよう、区の概要や各種統計データをコンパクトにわかりやすくまとめた冊子及び戸籍課窓口等で配布するための概要版（A4版1枚）を発行しました。また、ホームページにオープンデータを掲載しました。</p> <p>発行：2月 部数：冊子 1,500 部（約1,100 部配布済） 概要版 5,000 部</p>

<p>28 鶴見区人材育成 推進事業</p> <p>予算 (2,986,000円) 決算 (8,382,674円) 差引(▲5,396,674円)</p>	<p>全職員が一体感を持ち“チームつるみ”の一員として意欲・能力を最大限発揮できるよう人材育成に取り組むとともに庁内のコミュニケーション・情報共有を促進し、業務効率化を図りました。また、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、広報誌の活用による人権啓発に取り組みました。</p> <p>1 人材育成推進 人材育成や人権啓発、職員企画・提案型など様々な研修を通して、職員として必要なスキルの習得や意識改革を進めました。</p> <table border="1" data-bbox="555 607 1433 976"> <thead> <tr> <th>研修</th> <th>実施内容等</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">①窓口サービス向上</td> <td>外部評価（専門家）</td> <td>5月～随時</td> </tr> <tr> <td>満足度調査（来庁者アンケート）</td> <td>10月～随時</td> </tr> <tr> <td>全課横断窓口応援</td> <td>3月～4月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②人権啓発研修</td> <td>責任職グループ研修</td> <td>6月～2月</td> </tr> <tr> <td>職員向け研修</td> <td>6月～随時</td> </tr> <tr> <td>③職員企画・提案型研修</td> <td>テーマ募集・研修実施</td> <td>7月～随時</td> </tr> <tr> <td>④改革推進委員会</td> <td>委員募集・取組実施</td> <td>通年</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆外部評価は実施中止。</p> <p>2 人権啓発講演会の開催 区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、市民向け人権啓発講演会を開催します。 実 施：12月 会 場：サルビアホール 参加者：300人</p> <p>◆講演会は実施中止。代替策として、市民向け人権啓発コラムの作成及び広報紙掲載を実施。</p> <p>3 ICTの活用促進 区役所内の事務事業の効率化のため、パソコン等のICT機器の管理・運営等の環境整備を進めました。</p>	研修	実施内容等	実施時期	①窓口サービス向上	外部評価（専門家）	5月～随時	満足度調査（来庁者アンケート）	10月～随時	全課横断窓口応援	3月～4月	②人権啓発研修	責任職グループ研修	6月～2月	職員向け研修	6月～随時	③職員企画・提案型研修	テーマ募集・研修実施	7月～随時	④改革推進委員会	委員募集・取組実施	通年
研修	実施内容等	実施時期																				
①窓口サービス向上	外部評価（専門家）	5月～随時																				
	満足度調査（来庁者アンケート）	10月～随時																				
	全課横断窓口応援	3月～4月																				
②人権啓発研修	責任職グループ研修	6月～2月																				
	職員向け研修	6月～随時																				
③職員企画・提案型研修	テーマ募集・研修実施	7月～随時																				
④改革推進委員会	委員募集・取組実施	通年																				
<p>29 魅力ある区役所 づくり事業</p> <p>予算 (15,038,000円) 決算 (24,752,984円) 差引(▲9,714,984円)</p>	<p>区民の多様なニーズに的確に対応できるよう、清潔かつ快適な区役所環境の整備を図り、利用しやすい区役所を実現しました。また、乳幼児を伴って区役所を利用される方の利便性を向上するため、区役所1階の託児施設（キッズランド）において、乳幼児を預かりました。</p>																					

令和3年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

議 題 3

令和3年度個性ある区づくり推進費
自主企画事業費等執行状況について

議題3 目次

	ページ
1 地域力の強化	
1 防災活動推進事業【重点】	42
2 放置自転車対策事業	44
3 交通安全推進事業	45
4 鶴見区防犯活動支援事業	46
5 自治会町内会振興事業	47
6 つるみ・地域の課題解決事業	48
7 鶴見・あいねっと推進事業	49
8 「広げよう見守りの輪」推進事業【重点】	50
2 区内経済・活力の向上	
9 「千客万来つるみ」プロモーション事業	52
10 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	52
11 商店街魅力発信事業	54
12 鶴見区民まつり支援事業	55
13 地域文化・区民活動推進事業	55
14 区民スポーツ振興事業	56
3 子どもから大人まで安心・元気に	
15 ヘルスアッププラン	58
16 感染症対策事業	59
17 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	60
18 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業	60
19 つるみDE子育て応援事業	62
20 つるみの未来を育てる保育所事業	63
21 鶴見区虐待予防事業	65
22 生活衛生サポート事業	66
23 青少年健全育成事業	67
24 鶴見区環境行動推進事業	69
25 つるみクリーンタウン事業	69
4 区民サービスの向上	
26 鶴見区広報・広聴事業	72
27 発見つるみ！～データでみる鶴見区～	72
28 鶴見区人材育成推進事業	73
29 魅力ある区役所づくり事業	73

※ 本文では令和2年度予算の執行状況について記載のうえ、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応の影響による変更点等を、◆（網掛け）で注記しています。

令和3年度個性ある区づくり推進費自主企画事業費等執行状況

1 地域力の強化

事業名 (予算額)	事業概要
<p>1 防災活動推進事業 【重点】</p> <p>R 3 (13,373 千円) R 2 (12,162 千円) 差引 (1,211 千円)</p>	<p>風水害、地震及び都市災害等に備え、地域における自助・共助の取組推進、感染症対策を踏まえた地域防災拠点及び区本部機能の強化・維持、関係機関等との連携を促進し、防災力の向上を図ります。</p> <p>1 自助・共助推進事業 地域の防災情報や防災イベント・研修会等の機会を捉えた防災啓発を実施するほか、地域における共助のための自主的な取組に対して補助金を交付します。</p> <p>(1) 「まちなか」に重点を置いた防災情報啓発事業 ア 「まるごとまちごとハザードマップ」の更新 イ 郵便ポストを活用した防災啓発【新規】</p> <p>(2) 地域防災拠点の運営力強化 地域防災の要である地域防災拠点について、感染症対策を踏まえた衛生用品の購入や、備蓄資機材の点検・修繕を行います。また、地域防災拠点を担当する防災参与等の研修を行いました。 ※会議・研修等については、リモート開催等も検討します。 ア 地域防災拠点参与研修：5月 イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月 ウ 全地域防災拠点での運営訓練：8～2月</p>
	<p>【区配事業】横浜市地域防災活動支援事業 (総務局) 地域防災拠点運営委員会の自主的な活動を奨励し、地域防災拠点の運営を円滑に行えるよう、助成金を交付します。</p>
	<p>(3) 共助のための防災活動支援事業 地域防災力向上を目的として、共助のための自主的な活動を支援します。(補助額最大15万円)</p>
	<p>【区配事業】町の防災組織活動支援事業 (総務局) 大地震等の災害防止、軽減、予防のため、自治会町内会、共同住宅の管理組合等を単位として自主的に設置運営される、「町の防災組織」を支援するために補助金を交付します。</p>

- (4) 鶴見川防災対策事業
鶴見区水防協議会の水防資機材購入支援、鶴見川の防災機能整備促進・強化に向けた国への働きかけ
- (5) 防災講座による啓発活動
 - ア 出前防災講座
実施：6～3月（延30回程度）
会場：自治会町内会館、防災訓練会場、各ケアプラザ等
 - イ つるみっこ防災塾（小学校高学年向け防災教室）
実施：9～3月（6校程度）
内容：地域特性、街歩き、マップ作り等の防災授業
 - ウ 京浜河川事務所が主催する鶴見川防災情報講座の支援
実施：6～8月（全3回）
対象：鶴見川沿いの連合町内会（1団体）

【区配事業】地域の防災力を向上させる防災啓発事業 （総務局）
 若年層における防災意識向上を図るため小学校と連携し、防災を学ぶ授業の一環として、横浜市民防災センターの見学会を実施します。

- 2 区本部機能等強化学業
実災害に対応するための区本部機能の強化を図ります。
- (1) 災害対応力及び区本部機能の強化
 - ア 区役所職員の防災意識向上及び災害対応力強化の研修、区災害対策本部運営及び設営訓練の実施
区本部訓練：1月
職員研修：7～12月
◆動画配信や規模縮小で実施予定
 - イ 感染症対策を踏まえた区本部用資器材の整備
 - ウ 土砂災害時の連絡体制確保のためのIP無線機の導入
- (2) つるみ生活・防災マップ
つるみ生活・防災マップの発行
発行：12月
部数：17,000部

【統合事業】緊急時情報システム運用事業
 緊急時情報一斉伝達システムは、電話回線を利用して音声で、区から地域の防災組織の長（自治会町内会長）及び土砂災害時の即時避難勧告対象区域にお住まいの方等に対し緊急情報等を一斉発信し、あわせて双方向機能により受信状況を確認できるものです。このシステムを活用し、災害時等において迅速かつ確実な情報の伝達を実施します。

	<p>3 災害時医療体制推進事業 迅速かつ適切な応急対応措置を講じるため、平時から関係機関・団体の連携・協力体制を構築します。</p> <p>(1) 区内医療機関などとの通信訓練 区役所（医療調整班本部）と区内医療機関、市医療局との間で、MCA無線及び衛星携帯電話による通信訓練を実施します。 実施：毎月（奇数月 区→区内医療機関等） （偶数月 区→市医療局） ※MCA無線：運輸・物流業務、バス運行業務、タクシー等で広く利用されている資格不要のデジタル簡易無線。</p> <p>(2) 鶴見区災害医療連絡会議 行政と関係機関・団体の情報共有や意見交換を図ります。 開催：9月、12月、3月 構成員：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会、済生会横浜市東部病院、汐田総合病院、佐々木病院、平和病院、横浜在宅看護協議会、鶴見大学、鶴見警察署、鶴見消防署、鶴見区社会福祉協議会、鶴見区役所</p> <p>(3) 鶴見区災害医療訓練 鶴見区災害医療連絡会議の関係団体と地元町内会などが連携した災害医療訓練を実施します。 実施：1月 会場：済生会横浜市東部病院、医療救護隊参集拠点（汐田総合病院、鶴見区休日急患診療所、平和病院）、地域防災拠点、福祉避難所、鶴見区役所 など</p>
<p>2 放置自転車対策事業</p> <p>R3（5,650千円） R2（6,650千円） 差引（△1,000千円）</p>	<p>駅周辺において、安全で安心なまちづくりができるように、自転車等放置防止推進協議会の円滑な活動を支援するとともに、放置台数の多い箇所を中心に放置自転車対策を継続して行います。</p> <p>1 放置禁止区域内重点対策 放置禁止区域のうち特に放置自転車の多いJR鶴見駅・京急鶴見駅を中心に、駐輪場の利用促進や放置禁止の呼びかけを行う監視員を配置（夜間）するとともに、移動・撤去事業を行う道路局と連携して放置防止対策を実施します。</p>
<p>【局事業】 放置自転車等移動・撤去業務 (道路局)</p> <p>JR鶴見駅・京急鶴見駅周辺を重点とし、区内6駅周辺の自転車等放置禁止区域内に放置されている自転車等の移動・撤去を行います。</p>	
<p>【区配事業】 自転車等放置防止監視員業務委託（昼間） (道路局)</p> <p>JR鶴見駅・京急鶴見駅周辺を中心に、自転車等放置禁止区域内の自転車利用者に対して指導を行います。</p>	

	<p>2 自転車等放置防止推進協議会への支援 各駅協議会の啓発活動を支援します。 対 象：6 駅（JR 鶴見駅・京急鶴見駅・生麦駅・鶴見市場駅・ 矢向駅・尻手駅） 補助金交付：7 月</p>
<p>3 交通安全推進事業</p> <p>R 3 (2,380 千円) R 2 (2,298 千円) 差引 (82 千円)</p>	<p>安全で安心なまちづくりに向け、交通安全の普及啓発活動を推進するとともに、交通事故防止の対策を進めます。</p> <p>1 交通安全啓発事業 各季全国交通安全事業に合わせて取り組むとともに、警察署等関係機関と連携して、区交通安全対策協議会を運営し、講習会など効果的な啓発活動を展開します。</p> <p>(1)交通安全運動 実施：各季運動（4 月、7 月、9 月、12 月） 新入学児童・園児を交通事故から守る運動（4 月） 強化月間運動 ・自転車マナーアップ（5 月） ・二輪車交通事故防止・暴走族追放（6 月） ・違法駐車、放置自転車・バイク クリーンキャンペーン（10 月） ・飲酒運転根絶（12 月）</p> <p>(2)区交通安全対策協議会の運営 ア 幹事会・区自治連合会交通部連絡協議会 実 施：2 回 イ 総会 実 施：3 月 ウ 交通安全功労者表彰 区内における交通安全と事故防止及び啓発に貢献した人・ 団体を表彰します。 実 施：3 月</p> <p>(3)交通安全講習会 ア はまっ子交通安全教室（安全歩行、自転車乗り方教室） 実 施：22 回 会 場：区内小学校 22 校 イ チリリンスクール（自転車乗り方教室） 会 場：区内小学校 22 校 ウ 自転車事故防止の安全教室・講習会 会 場：企業・団体、自治会・町内会など</p>

	<p>(4)新入学児童向けランドセルカバーの製作 鶴見交通安全協会と協力して、「ワックんのイラスト入りランドセルカバー」を製作し、令和4年度の新入学児童に贈呈します。</p> <p>2 学校への支援 区内小学校 22 校が設置しているスクールゾーン対策協議会を支援します。 また、土木事務所、警察署と協議・連携しながら、路面表示等の新設・補修・撤去を行います。</p>
<p>【区配事業】スケアードストレイト（※）方式による交通安全教室の実施委託（道路局）</p> <p>スタントマンが事故の再現を行い、自転車利用時のマナー向上を図る交通安全教室を実施。</p> <p>※スケアードストレイト：交通事故を再現することで、事故につながる危険行為を未然に防ぐ教育</p> <p>◆実施中止</p>	
<p>4 鶴見区防犯活動支援事業</p> <p>R 3 (2,989 千円) R 2 (2,238 千円) 差引 (751 千円)</p>	<p>地域防犯力の向上のため、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援します。</p> <p>1 防犯啓発活動 地域の自主防犯活動を支援します。</p> <p>(1)防犯リーダー研修会 自治会町内会の防犯部等を対象に地域の防犯リーダーの研修会を開催します。 実 施：10月 参加者：80人</p> <p>(2)犯罪発生情報の提供 パソコンや携帯電話のEメールにより、メーリングリスト登録者(区民)向けに犯罪発生情報を提供します。</p> <p>(3)振り込め詐欺の注意喚起 警察署や関係機関と連携しながら、啓発物品や広報媒体を活用し、区民への注意喚起を実施します。</p> <p>2 子ども防犯活動支援事業 子どもを犯罪被害から守るため、支援を行います。</p> <p>(1)子ども防犯教室の開催 子どもへの犯罪から身を守ることをテーマに、児童及び保護者を対象とした防犯教室を開催します。 実 施：9月 対 象：駒岡小学校3年生、4年生 8クラス</p>

	<p>(2)「子ども110番の家」のプレートの提供 実 施：8、9月 枚 数：200枚</p> <p>(3)児童下校時見守り活動 実 施：毎月10日（横浜市子ども安全の日） 参加団体：横浜市建設業協会鶴見区会、区役所、学援隊等</p> <p>3 地域防犯活動支援事業</p> <p>(1)防犯パトロール活動支援事業 パトロール活動に必要な物品を希望する自治会町内会に防犯物品を提供します。</p> <p>(2)防犯パトロール実施委託 事業委託により、児童の下校見守り及び振り込め詐欺発生抑止を目的として、下校時間帯に区内小学校周辺や振り込め詐欺多発地域を中心に、防犯パトロールを実施します。 実 施：年24回（7～3月）</p> <p>(3)迷惑電話防止機器の貸与 振り込め詐欺対策のため、鶴見警察署・鶴見区自治連合会・鶴見区防犯協会・鶴見暴力団排除推進協議会と連携し、区内の高齢者世帯に迷惑電話防止機器を貸与します。 台 数：年200台</p>
<p>5 自治会町内会振興事業</p> <p>R3（2,400千円） R2（2,037千円） 差引（363千円）</p>	<p>地域活動に関連する各種情報や依頼事項を自治会町内会に伝達するとともに、自治会町内会と連携した自治会町内会加入率の向上や、コロナ禍での自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>また、地域社会の振興に尽力された方々に対して、自治会町内会長感謝会にて感謝状及び記念品の贈呈を行います。</p> <p>1 地域振興連絡事業 区連会定例会後、自治会町内会に行政・団体からの情報や依頼事項等の資料配布を行います。 実 施：毎月（8月を除く）</p> <p>2 地域活動支援事業【新規】 コロナ禍において、自治会町内会での活動が制限されている中、ICTを活用した会議支援等、地域活動を継続するための支援を行います。 実 施：通年</p>

	<p>3 自治会町内会長感謝会 自治会町内会長・地区連合町内会長の永年在職者に対して感謝状や記念品を贈呈します。 実施：3月 感謝状対象：自治会町内会長5年 記念品対象：自治会町内会長5年毎、 地区連合町内会長10年毎</p>
<p>【区配事業】地域活動推進費 (市民局) 自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援します。 また、市政及び区政に対する協力活動に対する謝礼として、地区連合町内会長に報償費を交付します。</p>	
<p>【区配事業】自治会町内会館整備助成事業 (市民局) 自治会町内会が行う自治会・町内会館の整備に関する費用に対して、その一部を助成します。</p>	
<p>6 つるみ・地域の課題解決事業</p> <p>R 3 (6,000 千円) R 2 (3,000 千円) 差引 (3,000 千円)</p>	<p>地域課題のうち、早急な解決が必要な事案等について、区として機動的な対応を行います。</p> <p>1 地域の課題解決サポート事業 (1) 地域の課題解決サポート事業 地域が抱える緊急性の高い課題に対し、区が機動的に対応します。</p> <p>(2) 鶴見区新たなチャレンジ応援補助金 【新規】 地域の課題解決に取り組む団体等が、その解決のために新たな活動を始めるためのスタートアップを支援します。</p> <p>2 広場・遊び場事業 【新規】 旧サムエル町のはらっぱの維持管理や土地活用の検討・測量及び子どもの遊び場の安全管理を実施します。</p>

【区配事業】元気な地域づくり推進事業

(市民局)

地域の様々な課題解決に取り組む活動のきっかけづくりや、地域の各団体等が連携して、自主的・継続的に地域課題の解決に取り組む活動を支援します。

(補助内容)

1 つるみ・地域のつながり応援事業補助金

自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携した地域課題解決の取組を支援します。

(補助額:最大 30 万円)

2 つるみ・元気アップ事業補助金

地域の課題解決に向けて、区民が自主的に取り組む活動の立ち上げを支援します。

(補助額:最大 10 万円)

3 協働の「地域づくり大学校」

地域や地域活動に関心のある区民と職員の相互交流やネットワークづくりを行うとともに、地域活動に関わるきっかけづくりや地域課題の解決・地域の魅力づくりに向けた実践的な内容を学ぶ場として、地域団体との協働による連続講座等を実施します。

【区局連携促進事業】

(財政局)

旧サムエル町のはらっぱの緑地広場整備に向け、近隣住民が利用している敷地の道路移管に向けた整備・手続等を実施します。

7 鶴見・あいねっと
推進事業

R 3 (2,553 千円)

R 2 (2,984 千円)

差引 (△ 431 千円)

鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)に基づき、地域やボランティア団体等との協働により福祉保健を中心とした様々な地域課題の解決に取り組みます。

1 第4期区計画の策定及び推進

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、策定時期を1年延長し、令和3年度中の策定を目指します。

※計画期間：令和3年度から令和7年度まで

(1)あいねっと推進委員会及び策定検討会

区内福祉関係者等からなる推進委員会を開催します。また、第4期区計画の策定検討会を令和元年度から同委員会内に設置しており、検討会にて計画案を協議します。

推進委員会：7月、9月、1月

策定検討会：6月、12月

	<p>(2)地区別計画の策定及び推進 地域と地区別支援チームの協働により、第4期地区別計画の策定を行い、地域福祉保健活動の推進を図ります。 会 場：区内地域ケアプラザほか 参加者：延約3,000人 <地区別支援チーム> 連合町内会ごとの地区別計画推進の支援を行う、区福祉保健センターの専門職・区社協職員・地域ケアプラザ職員等で構成するチーム。</p> <p>(3)区民意見の募集及び反映 作成した第4期計画素案への区民意見募集を行い、地域住民の意見をくみ取りながら計画を策定します。 募集期間：10月～11月</p> <p>2 あいねっと推進フォーラムの開催 区計画の周知及び福祉保健活動への参加者を広げる目的で開催し、策定した新計画の発表も行います。 実 施：3月 会 場：鶴見公会堂（非集合を含め、開催形式を検討中） 参加者：約450人</p>
<p>8 「広げよう見守りの輪」推進事業 【重点】</p> <p>R 3 (1,587 千円) R 2 (968 千円) 差引 (619 千円)</p>	<p>ひとり暮らし高齢者や障害者など支援を必要とする人に対して、地域で日頃から見守り、緊急時や災害時にも役立つ支えあいの関係づくりを進めます。</p> <p>1 定期訪問・見守り活動【拡充】 新型コロナウイルス感染拡大により、いわゆる“新しい生活様式”を踏まえた見守り活動を支援するため、「見守り訪問ガイド（新しい生活様式版）」を作成します。また、民生委員等主な活動者へ衛生用品（手指消毒液及びサージカルマスク）を配付するなど、訪問・見守り活動の一助となる取組を推進します。 また、救急医療情報キットを配布し、緊急時の迅速な対応に役立てます。 定期訪問・見守り活動対象者数：2,832名（3年3月末現在）</p>
<p>【区配事業】ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局） 75歳以上ひとり暮らし高齢者等の名簿を、区役所から民生委員と地域包括支援センターに提供し、3者で共有して必要な支援につなげます。区内全地区で、名簿をもとに民生委員が各戸訪問等を実施します。</p>	

2 災害時要援護者支援の仕組みづくり

鶴見区では、災害時要援護者支援の取組が 100%の自治会町内会で実施されています。区内 126 自治会町内会のうち 29 自治会町内会には同意方式、97 自治会町内会には情報共有方式による名簿を提供し、地域の支え合いの取組に活用いただいています（3年6月1日現在）。

引き続き、地域で避難を支援する関係者等に対して、区から要援護者情報の提供を行うとともに、地域の取組を支援していきます。

<同意方式と情報共有方式>

同意方式：個人情報の提供について同意があった方の名簿を民生委員に提供

情報共有方式：個人情報の提供について拒否の意思表示がない方の名簿を自治会町内会に提供

令和3年4月1日現在

	対象者数	名簿登載者数	名簿登載率
同意方式	2,829 人	1,619 人	約 57%
情報共有方式	6,630 人	6,028 人	約 90%
合計	9,459 人	7,647 人	約 80%

<名簿に登載される要援護者>

- ・要介護3以上の方
- ・要支援以上のひとり暮らし高齢者
- ・障害者総合支援法のサービスの支給決定を受けている身体障害者、知的障害者、難病患者 など

2 区内経済・活力の向上

事業名（予算額）	事業概要
9 「千客万来つるみ」プロモーション事業 R 3（8,000 千円） R 2（8,000 千円） 差引（ 0 千円）	<p>地域の賑わいをさらに高めるため、鶴見区内の催事や点在する観光資源等を活かし、地域や企業等と連携して、誘客プロモーション活動やイベントを実施します。</p> <p>1 魅力づくりと区内外への発信 「地元の魅力の再発見」と「区内外への発信力の強化」に向けて、魅力PR動画の製作、地域ポータルサイトの運営、ワックんの活用など、地域・団体・企業等様々な主体とともに取り組んでいきます。</p> <p>2 地域活性化イベントの実施 地域や団体、企業等との協働によって地域活性化に繋がるイベントを実施します。</p>
<p>【区配事業】 Garden Necklace YOKOHAMA 2021 事業 （環境創造局）</p> <p>Garden Necklace YOKOHAMA 2021 開催に伴い、局と連携した事業を実施します。</p>	
10 多文化のまち・つるみ推進事業 【重点】 R 3（14,326 千円） R 2（14,711 千円） 差引（△385 千円）	<p>「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言」に基づき、外国人も日本人も暮らしやすい多文化共生のまちづくりを進めます。</p> <p>1 Facebook 等による生活情報の発信 (1) 外国人向けに行政情報や生活情報に関する情報提供を多言語で行います。 対応言語：英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語、やさしい日本語</p> <p>(2) 区庁舎において無料 Wi-Fi を提供します。</p> <p>2 市民通訳ボランティアの配置 鶴見区で最も数が多い中国人の母語である中国語で、区役所業務や行政情報の案内等を行います。 ◆実施：週1回（金曜日）、13時～17時（新型コロナウイルス感染症の影響により時間を短縮） 場 所：区役所2階 戸籍課</p> <p>3 多文化共生社会の実現に向けた啓発事業 地域で多文化共生を理解し、推進するためのきっかけとなる区民向けの啓発事業を実施します。</p>

4 鶴見国際交流ラウンジ運営事業

外国人区民に対する相談対応や情報提供を行うとともに、区内の多文化共生を推進する取組を行います。

(1) 相談対応・情報提供

- ア 多言語による相談対応
- イ 情報紙「鶴見国際交流ラウンジニュース」の発行
発行：年4回
- ウ ホームページの運営
- エ SNS を活用した情報発信（区内イベント等も含む）

(2) 各種教室の実施

館内 Wi-Fi を活用したオンライン会議システムの活用など、状況に応じた新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら各種教室を実施します。

- ア 託児付日本語教室・暮らしのガイダンス
実施：14 回程度 参加者：延 40 組

イ 学習支援教室

クラス	実施	参加者	内容
小学生	月 2 回	延 600 人	
中学生	月 4 回	延 700 人	日本語及び教科の他、人材育成研修の実施
夏休み宿題教室	5 回	延 250 人	8 月に実施
中学 3 年生 (入試対策)	8 回	延 100 人	11 月～2 月に実施

- ウ 外国人区民と日本人区民交流イベント
実施：5 回程度 参加者：延 100 人

エ 日本語ボランティア養成講座

クラス	実施	参加者	内容
入門講座	10 回	延 130 人	連続講座
ブラッシュアップ講座	5 回	延 130 人	

(3) 市民の多文化共生に関する活動支援

会議室や機材の貸し出し等、市民の多文化共生に関する活動場所を提供します（日本語教室、外国につながる子どもたちの学習支援、国際交流活動等）。

【局事業】日本語支援推進事業

(教育委員会事務局)

日本語指導が必要な児童生徒に対して、国際教室の設置をはじめ、母語による初期適応・学習支援、学校通訳ボランティア（保護者向け通訳）、日本語教室、プレクラス、学校ガイダンス、各種ガイドブックの発行等を行います。

【区局連携促進事業】外国人の集住が進む4区の国際交流ラウンジ機能強化

(国際局)

外国人の集住が進む区(鶴見・中・南・緑区)の国際交流ラウンジで、コーディネーターを配置し、地域の課題解決を図ります。

5 多言語対応推進事業

区内の在住外国人数の増加や国籍の多様化に伴い、行政情報の提供に関する多言語対応を強化します。

(1)各課が個別に行っていた資料等の多言語翻訳を一括契約で実施

(2)多言語翻訳機の導入

(3)複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスの実施

【局事業】区役所窓口等への翻訳・通訳機器配備の充実(国際局)

外国人にとって相談しやすい区役所となるよう、ICT機器の活用を拡充し、区役所窓口及び保育所をはじめとした区行政の様々な現場における対応力を強化します。

【局事業】区役所窓口におけるタブレットを活用した多言語対応の実施(国際局)

複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを全区で実施します。

11 商店街魅力発信事業

R 3 (1,200 千円)

R 2 (1,050 千円)

差引 (150 千円)

地域コミュニティの核である商店街が地域と連携しながら、商店街の魅力を発信することにより、商店街の振興と地域のにぎわい創出に結びつくよう支援します。

1 商店街魅力発信支援事業【拡充】

商店街と地域が連携した事業に補助金を交付し、支援します。令和3年度は助成対象を拡充し、区民に区内商店街や店舗に親しみを感じてもらえる機会を増やすとともに、区内のにぎわいを創出します。

【区配事業】商店街活性化イベント助成事業

(経済局)

商店街が行うイベントにかかる経費の一部を補助します。

【局事業】商店街環境整備支援事業

(経済局)

商店街の行う街路灯や防犯カメラ、駐車場、舗道等のハード整備にかかる経費の一部を補助します。(新設・改修・撤去)

【局事業】安全・安心な商店街づくり事業

(経済局)

商店街の街路灯の電気・ガス料金の一部を補助します。

<p>12 鶴見区民まつり 支援事業</p> <p>R 3 (3,700 千円) R 2 (3,700 千円) 差引 (0 千円)</p>	<p>鶴見区民のふるさと意識を醸成し、区民相互の交流や連帯を深めるために区民・団体が主体的に取り組む、区民フェスティバルを支援するため、補助金を交付します。</p> <p>1 三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル 文化と環境に関心を持ち、地域社会を育てることを目的として三ツ池公園周辺の6つの地区連合を中心とした実行委員会の企画・運営により実施します。 会 場：県立三ツ池公園 内 容：模擬店、PR展示、ステージ発表 フリーマーケット、リサイクルPRイベント等 参加者：50,000人（令和元年度 実行委員会発表） ◆ 実施中止</p> <p>2 つるみ臨海フェスティバル 「みんなで創ろう つるみ臨海部」をテーマに、臨海部に親しみながら、誰もが楽しめるふれあいの場を区民に提供し、子どもから高齢者まで、安心して暮らしていける温かな地域社会、地域づくりを推進することを目的として、区内臨海部の自治会町内会を中心とした実行委員会の企画・運営により実施します。 実 施：10月30日 会 場：入船公園 内 容：模擬店、ステージイベント等 参加者：45,000人（令和元年度 実行委員会発表） ◆ 実施中止</p>
<p>13 地域文化・区民活動推進事業</p> <p>R 3 (2,859 千円) R 2 (2,846 千円) 差引 (13 千円)</p>	<p>区民に様々な文化活動の発表の場と、文化・芸術の鑑賞の機会を提供し、文化活動への関心を高め、地域文化の振興を図ります。 また、区民の地域での活動を促進するため、活動を始めるきっかけとなる講座や担い手を育成する事業を実施します。</p> <p>1 地域文化推進事業 鶴見区民文化祭への補助金交付を通じて、区民の文化活動を発表する場と文化・芸術に触れられる機会をつくります。 実 施：10～1月 会 場：鶴見公会堂、サルビアホール、鶴見区役所ほか 参加者：延1,500人（令和2年度実績） 内 容：郷土史展、作品展、音楽・踊り、バザー等</p> <p>2 つるみ区民活動センター事業 区民のニーズや地域課題を把握し、区民活動等への支援を行うとともに、中間支援組織として区民利用施設間の連携・協力を促進します。また、生涯学習・社会教育を推進するため、区民を対象とした学びの場を提供します。</p>

	<p>(1)相談・コーディネート・機材貸出</p> <p>(2)情報提供・ボランティア登録 ア つるみ区民活動センター情報紙「あぶりお」発行 回数：年6回（隔月） 部数：延9,000部 イ 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」登録</p> <p>(3)講座・イベント</p> <table border="1" data-bbox="571 551 1426 938"> <thead> <tr> <th>講座・イベント名</th> <th>実施</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習・社会教育推進講座 「つるみMACHI塾」 ※オンラインでの配信も実施 ※一部、区民企画による講座を実施</td> <td>10回</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>生涯学習ボランティア紹介展「鶴見人ネットフェスタ」【新規】</td> <td>1回</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>市民活動紹介展「鶴魅力」</td> <td>2月</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>登録団体交流会</td> <td>3月</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4)区民利用施設間の連携強化 区民利用施設が連携・協力し、よりよい区民活動支援の体制づくりを進めていくため、施設スタッフ向け研修会・意見交換会を実施します。 実施：2回 参加者：延50人</p> <p>3 読書活動推進事業 読書推進に関する講演会や講座を開催します。 実施予定：2月（つるみ読書講演会）</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【区配事業】横浜市民の読書活動推進事業 （教育委員会事務局）</p> <p>「第二次横浜市民読書活動推進計画」及び「第二次鶴見区読書活動推進目標」に基づき、読書関連施設間の情報交換や連携を深めるために「鶴見区読書関連施設連絡会」や「鶴見区の読書活動を広める連絡会」等の取組を実施します。</p> </div>	講座・イベント名	実施	参加者	生涯学習・社会教育推進講座 「つるみMACHI塾」 ※オンラインでの配信も実施 ※一部、区民企画による講座を実施	10回	300人	生涯学習ボランティア紹介展「鶴見人ネットフェスタ」【新規】	1回	100人	市民活動紹介展「鶴魅力」	2月	150人	登録団体交流会	3月	50人
講座・イベント名	実施	参加者														
生涯学習・社会教育推進講座 「つるみMACHI塾」 ※オンラインでの配信も実施 ※一部、区民企画による講座を実施	10回	300人														
生涯学習ボランティア紹介展「鶴見人ネットフェスタ」【新規】	1回	100人														
市民活動紹介展「鶴魅力」	2月	150人														
登録団体交流会	3月	50人														
<p>14 区民スポーツ振興事業</p> <p>R 3 (1,050 千円) R 2 (1,050 千円) 差引 (0 千円)</p>	<p>区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、区民スポーツ大会の実施などスポーツの普及・振興を進めます。</p> <p>1 鶴見区スポーツ協会の活動支援 鶴見区スポーツ協会が行う各種目別の区民大会の開催や情報提供の支援を行います。</p>															

2 鶴見区ランニングフェスタの開催支援
鶴見区体育協会が事務局を担い組織された実行委員会の活動を支援します。
実 施：未定(令和元年度 12月21日)
会 場：未定(令和元年度 駒岡防災拠点付近鶴見川河川敷)
◆中止

【区配事業】東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成の取組

(市民局)

令和2年度に東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成を目的として鶴見区独自で作成したフォトモザイクアートをバス等に活用して、広く周知し、大会の機運醸成を図ります。

3 子どもから大人まで安心・元気に

事業名（予算額）	事業概要
<p>15 ヘルスアッププラン</p> <p>R 3 (1,893 千円)</p> <p>R 2 (4,027 千円)</p> <p>差引 (△2,134 千円)</p>	<p>多くの区民が「健康」を意識し、積極的に健康づくりのための行動が起こせるよう、民間企業・関係団体等と連携し、健康に関する講座や啓発等の様々な事業を行います。</p> <p>1 生活習慣病予防</p> <p>(1)子育て世代への健康啓発 子育てサロン等の場で、保護者向けに生活習慣病や健診・がん検診等について啓発を行います。 実施：6月～12月（年3回） 会場：町内会館等 対象者：乳幼児の保護者</p> <p>(2)運動普及啓発 区民が日常的に無理なく運動を取り入れられるように、媒体を活用しての啓発を行います。</p> <p>2 ComeCome（噛む噛む）元気大作戦！（歯科保健事業）</p> <p>(1)親子わくわく歯っぴい講座 親子を対象に、歯みがき実習や唾液検査による歯周病予防の啓発を行います。 実施：年12回 会場：区役所 参加者：各回20組 対象者：0～1歳児と保護者</p> <p>(2)歯周病・オーラルフレイル予防等啓発 6月の「歯と口の健康週間」や両親教室（月1回）の機会に啓発を実施。</p> <p>3 食育事業</p> <p>(1)食育イベントおよび食育研修会 6月の「食育月間」や区内スーパーでのイベントで、食育に関する啓発を行いました。 また、食育に携わる関係者を対象とした研修会を2月に実施します。</p> <p>(2)幼児の食育講座 幼児期からの適切な食習慣の定着、基礎づくりを目指した講座を行います。 実施：年6回 参加者：各回20組 対象者：1～2歳児と保護者</p>

	<p>(3)食育ミニ講座 3歳児健診会場で、子どもや保護者が食について学ぶミニ講座をボランティアが実施します。 実施：年36回 参加者：延2,200組 対象者：3歳児と保護者</p> <p>(4)離乳食教室 健康福祉局予算で実施する離乳食教室について、定員を大きく上回る参加ニーズに対応するため、開催回数を増やします。 実施：年12回 ※合計24回 参加者：各回20組 対象者：7～9か月児と保護者</p> <p>4 鶴見区健康づくり推進会議 区内の民間企業や関係団体と健康課題や健康づくりの取り組みを共有し、健康増進に向けた検討を行うため健康づくり推進会議を実施します。 実施：年1～2回</p>
<p>16 感染症対策事業</p> <p>R 3 (910 千円) R 2 (433 千円) 差引 (477 千円)</p>	<p>区内施設や区民が、適切に新型コロナウイルス感染症等の予防や拡大防止に取り組めるよう研修及び啓発を行います。 また、新型インフルエンザ等発生に備え、区職員を対象とした研修及び訓練を行います。</p> <p>1 感染症対策</p> <p>(1)区内施設向け啓発 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の知識や発生時の対応方法について、関連施設に情報提供します(9月)。 対象：保育所、幼稚園、高齢者・障害者施設</p> <p>(2)感染症対策指導者養成研修 新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎等の患者発生時の初期対応を中心に研修を行い、施設での対策強化につなげます。 実施：10月(1回) 対象：上記施設の施設管理者、従事者 参加者：延80人</p> <p>2 新型インフルエンザ等対策</p> <p>(1)区民向け啓発 イベントでのポスター掲示やパンフレット配布を行います。 実施：通年(10月健康づくり月間) 会場：区役所等</p> <p>(2)区職員向け研修・訓練 新型インフルエンザ発生時の職員対応についての講義と庁舎活用訓練を実施します(10月)。</p>

<p>17 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業</p> <p>R 3 (420 千円)</p> <p>R 2 (678 千円)</p> <p>差引 (△258 千円)</p>	<p>障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めていきます。</p> <p>1 鶴見区地域自立支援協議会の推進</p> <p>障害児・者が地域で生活していくことを支援する相談機関が情報・課題の共有、支援の向上を図るための協議会を開催します。また、協議会を活用して、関係機関職員等の質の向上に資するための研修を実施します。</p> <p><構成員></p> <p>基幹相談支援センター、地域活動ホーム、精神障害者生活支援センター、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、養護学校、地域ケアプラザ等 88 機関(令和3年7月1日現在)</p> <p>(1)会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議：年1回 ・担当者会議：年4回 <p>このほか、専門部会3部会（相談・権利擁護・精神保健福祉）をそれぞれ隔月で開催します。</p> <p>(2)研修</p> <p>関係機関職員等の知識・技術の向上やネットワークの構築を図り、業務やケース支援等に生かしていくための研修を実施します。</p> <p>実 施：年4回</p> <p>2 障害理解の推進</p> <p>障害者週間に合わせたイベントの実施や福祉施設の自主製品等のPR、販売支援等を行い、区民の障害理解や意識啓発に繋がります。</p> <p>(1)障害者週間イベント</p> <p>障害児・者関係団体等と協働で、施設等紹介パネルの展示や福祉施設の自主製品の販売等、啓発活動を行います。</p> <p>実 施：12月（障害者週間に合わせて実施）</p> <p>会 場：区役所1階ロビー等</p> <p>3 専門職のスキルアップ研修の実施</p> <p>社会福祉や保健師等の専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を向上させるための研修を実施します。</p> <p>実 施：年5回</p>
<p>18 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業</p> <p>R 3 (1,374 千円)</p> <p>R 2 (1,840 千円)</p> <p>差引 (△466 千円)</p>	<p>高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、認知症対策や介護予防について啓発事業を行います。特に、オーラルフレイル予防の推進に向け、歯科受診勧奨等について個別通知を行いました。</p>

1 認知症普及啓発事業

(1) 認知症予防の人材育成研修

地域で認知症予防活動を行っている支援者に対して、認知症の人も一緒に参加する「スリーA認知症予防教室」を実施し、プログラムを紹介しました。

R3実績：6月15日（潮田14名）、6月18日（矢向9名）、7月26日（鶴見市場28名）

(2) 認知症体験型講座

キャラバン・メイト等のフォローアップを目的とするVR（バーチャル・リアリティ）を利用した体験型の講座を実施します。
参加者：40～50人（実施時期は調整中）

【区配事業】認知症支援事業

（健康福祉局）

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り良い環境の中で暮らし続けられるように、医療との連携、介護サービスの適切な提供を推進するとともに、地域の見守りやサービス等を含めた切れ目のない支援体制の構築を目指します。

- ・徘徊認知症高齢者SOSネットワーク
- ・認知症初期集中支援チーム
- ・認知症に関する普及啓発（認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイトの育成等）

2 介護予防事業

70歳の高齢者を対象に、オーラルフレイル予防の情報提供と、横浜市歯周病検診（無料）について、個別通知を行いました。また、鶴見区歯科医師会と協働し受診者には歯科医師等がオーラルフレイル予防に関する個別指導を実施し歯ブラシをプレゼントします。

通知時期及び方法：6月、郵送にて発送

対象者：3,185人

【区配事業】一般介護予防事業

（健康福祉局）

住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できることを目的に介護予防事業を進めます。

- ・元気づくりステーション事業
- ・地域リハビリテーション活動支援事業
- ・介護予防普及啓発事業（口腔機能向上、ロコモ予防、ひざ体操指導者研修等）

<p>【区配事業】地域包括ケアの推進 (健康福祉局)</p> <p>横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区行動指針に基づき、鶴見区の地域包括ケアシステムを推進します。</p>	
<p>19 つるみ DE 子育て 応援事業</p> <p>R 3 (3,117 千円) R 2 (3,315 千円) 差引 (△ 198 千円)</p>	<p>妊娠中から継続した関わりで、家庭・地域の育児力をアップし、子育て支援の充実と、安心して子育てができる環境を整えます。</p> <p>1 地域育児教室 原則第1子の0歳児と保護者を対象に月1回程度開催します。また、新型コロナウイルス感染症対策として、予約制としています。 実 施：1会場あたり10回程度 会 場：地区センター、地域ケアプラザ等21か所</p> <p>2 親子の居場所普及事業 親子が気軽に立ち寄れる、親子の居場所「ふらっとる一む」の運営を支援します。 実 施：51か所</p> <p>3 子育て応援情報冊子作成 子育てに関する情報誌「鶴見区子育て応援ガイドブック」を発行します。 部 数：8,000部</p> <p>4 多言語窓口子育て支援事業 窓口における接触機会を減らすため、母子健康手帳交付時に行う説明の一部について外国語による動画を作成します。</p> <p>5 区長表彰事業 スポーツ・文化の分野において、顕著な功績又は優秀な成績を収めた児童・生徒に対して区長表彰を行います。 《元年度実績》 個人50名、団体10団体 《2年度実績》 個人16名、団体14団体 表彰対象基準： ・国際コンクール等への出場 ・全国コンクール等への出場 ・関東コンクール等での3位以内の入賞 ・スポーツ、文化の分野での特に顕著な功績</p>

	<p>6 鶴見区放課後児童健全育成事業に向けた人材育成研修事業 事業者及び職員に対し、児童の安全で安心な放課後の提供のために人材育成研修を開催します。 ・放課後児童健全育成事業所 48 か所</p>
	<p>【局事業】乳幼児一時預かり事業 (こども青少年局) 養育者のリフレッシュを主な目的にした事業です。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。</p>
	<p>【局事業】親と子のつどいの広場 (こども青少年局) 育児にかかわる心身の負担軽減等を図るため、親子の交流や集いの場の提供、情報提供、一時預かりを行う事業です。区内には「はなはなひろば」「キッチン」「こま一ま」「Coron」があります。</p>
	<p>【区配事業】地域子育て支援拠点事業 (こども青少年局) 未就学児の親子を対象に、遊びや交流スペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う拠点として「わっくんひろば」「わっくんひろばサテライト」を設置しています。</p>
	<p>【区配事業】横浜子育てサポートシステム (こども青少年局) 子どもを預かってほしい人と預かれる人が会員登録をして預かりなどの子育てニーズに対応する事業です。子育て支援拠点「わっくんひろば」が事務局を担っています。</p>
	<p>【局事業】産前産後ヘルパー派遣事業 (こども青少年局) 妊娠期または産褥期（5か月未満）にあつて、日中に家事育児の支援を受けられない方にヘルパーを派遣し、育児不安や心身の不調による家事育児負担の軽減を図ります。</p>
<p>20 つるみの未来を育てる保育所事業</p> <p>R 3 (3,634 千円) R 2 (3,800 千円) 差引 (△ 166 千円)</p>	<p>園庭開放など、市立保育所資源を活用した子育ての応援や、区内保育施設等職員に対して保育の質向上を図るための研修を実施します。また、区内の保育所等一覧及びマップの作成を行い、保育所等の申請等にあたり、分かりやすく案内をすることで、利用者の利便性向上に繋がります。</p> <p>1 保育所多文化共生事業 市立保育所が中心となって、区内の保育施設等と一緒に多文化共生研修の実施や、多文化理解のためのグッズ作成等を行います。この取組により、保育施設等職員や園児の外国文化の理解へ繋がります。</p>

2 保育所資源活用事業

(1)市立保育所園庭開放

市立保育所の園庭を地域の親子に開放します。また有償ボランティアを配置し、育児相談等に対応することで市立保育所を活用した育児支援を充実します。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業

(こども青少年局)

保育の質向上研修等を行います。

◆区内を7か所のエリアに分け、市立保育所を中心に認可保育所や横浜保育室などの保育資源とともに実施する育児支援イベントや交流会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止予定

(2)保育所地域ふれあい事業

市立保育所において、地域ふれあい会を開催し、ランチ会などを通して、園児と地域の方々との交流を図ります。

実 施：6月～2月(年数回/園)

会 場：市立保育所4園

対象者：園児及び地域の方々

◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により休止中

3 保育・教育施設職員研修事業

区内保育施設職員に対して、園児の運動能力を向上させる指導法を学ぶための「運動指導研修」や、子どもにとってよりよい保育環境を整備するための「施設長向けマネジメント研修」を行います。

会 場：区役所会議室、市立保育所等

参加者：延1,000人程度

対象者：市立保育所、民間認可保育所、横浜保育室
認可外保育所、家庭的保育事業、小規模保育事業、幼稚園等

4 図書を活用した地域子育て支援事業

市立保育所を会場にして、子育て中の親子向けに絵本の読み聞かせなどのイベントを行うことや、絵本等の貸出を行うことで育児支援や読書の機会の増大に繋がります。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

	<p>5 保育所入所支援事業</p> <p>認可保育所、地域型保育事業、認定こども園及び横浜保育室の定員、保育時間等及びその位置を周知するため、鶴見区の保育所等一覧・マップ等を発行します。また、よりの確に保護者のニーズをとらえた施設紹介を行えるよう、「町別保育所一覧」を新たに作成します。</p> <p><保育所一覧等の発行></p> <p>実 施：10月、3月</p> <p>部 数：13,000部</p> <p><町別保育所一覧の作成></p> <p>実 施：4月～6月</p>
--	---

【局事業】 保育所の運営

(こども青少年局)

令和3年4月開所の認可保育所は5園、小規模保育事業所は5園です。これにより、区内の保育所等は、116園となります。

<p>21 鶴見区虐待予防事業</p> <p>R 3 (2,651千円)</p> <p>R 2 (2,647千円)</p> <p>差引 (4千円)</p>	<p>子育てに関する負担を軽減し、児童虐待やDV（ドメスティクバイオレンス）の予防を目指します。</p> <p>1 親支援講座</p> <p>子どもとのコミュニケーション学習を目的とした講座と講演会、支援者向け研修会を開催します。</p> <p>(1)出張講座</p> <p>実 施：年7回</p> <p>対 象：0～3歳児の保護者</p> <p>内 容：ロールプレイを中心とした、子どもとのコミュニケーションのとり方や、効果的な伝え方・ほめ方の練習</p> <p>(2)子育て講演会</p> <p>実 施：年2回</p> <p>対 象：2歳前後の児を持つ保護者</p> <p>内 容：イヤイヤ期への対応を中心とした講義</p> <p>(3)支援者向け研修会</p> <p>実 施：年1回</p> <p>対 象：育児支援関係施設職員等</p> <p>内 容：虐待予防に関する知識の共有</p> <p>2 専門家相談</p> <p>子育て中の親の不安を軽減するため、専門家による相談を行います。</p> <p>実 施：臨床心理士による子育て中の親の相談（年42回）</p> <p>弁護士による相談（年8回）</p> <p>精神科医師による精神疾患に関する相談（年6回）</p> <p>学識経験者による児童虐待に関する相談（年10回）</p>
--	---

	<p>3 虐待予防小中学校等出張講座 潮田中学校3年生を対象に「自分を大切にする」をテーマにした性教育を実施しました。また、助産師を講師に中学校養護教諭・学校カウンセラーとともに、性教育について意見交換を行いました。</p> <p>実 施：中学校3年生対象（1校）（7月） 性的接触、性感染症予防、避妊など</p>
<p>【区配事業】児童虐待予防啓発地域連携事業 （こども青少年局）</p> <p>児童虐待防止の地域への啓発を行うと共に、関係機関への研修や職員を対象にした専門研修を行い、虐待対応のスキルアップを図ります。</p>	
<p>【局事業】産後母子ケア事業 （こども青少年局）</p> <p>虐待のリスクが高い母子を対象に、助産所等が、デイケア及びショートステイを行い ①お母さんのケア ②赤ちゃんのケア ③その他指導相談等を行う、養育支援を目的にした事業です。市内8か所の助産院で実施します。</p>	
<p>22 生活衛生サポート事業</p> <p>R 3 （ 876 千円） R 2 （ 991 千円） 差引（△115 千円）</p>	<p>食品・環境衛生に関する最新の情報提供・啓発や、犬猫の適正飼育啓発やねずみ駆除の支援などを行い、区民が安全・安心に快適な生活が送れるようサポートします。</p> <p>1 食品衛生関係事業</p> <p>(1) ノロウイルスによる食中毒の予防 高齢者施設、病院など重点対象施設への立入指導や、食品提供を行うボランティアへの出前講座などを行います。</p> <p>◆新型コロナ感染症対策のため、立入指導の縮小、出前講座の中止。</p> <p>(2) 食肉を原因とした食中毒の発生防止 食品関係営業施設への立入指導や、講習会などによる啓発を行います。</p> <p>◆新型コロナ感染症対策のため、立入指導の縮小。</p> <p>(3) HACCPによる衛生管理手法の導入に向けての支援 対 象：食品関係営業者</p> <p>2 環境衛生関係事業 ねずみ及び衛生害虫などによる健康被害防止啓発や、駆除相談、駆除機材の貸出などを行います。</p> <p>3 人と動物の共生推進事業</p> <p>(1) 動物介在活動ボランティア支援事業 高齢者施設等への訪問ボランティア支援のため、参加する動物及び飼い主の審査会を開催します。</p> <p>実 施：11月</p>

	<p>(2)犬猫の適正飼育の啓発 ア 適正飼育講習会の開催 実施：8月 ◆新型コロナ感染症対策により、開催延期 イ 地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発 ウ 災害時ペット対策パンフレットの印刷 部 数：1,000部</p> <p>(3)飼い主のいない猫対策事業 超音波式ねこ被害軽減機の貸し出しや、地域が取り組む飼い主のいない猫対策への支援を行います。</p>
<p>23 青少年健全育成事業</p> <p>R3 (2,143 千円) R2 (2,013 千円) 差引 (130 千円)</p>	<p>青少年の健全育成を図る団体を支援し、健全育成を推進します。また、地域社会において青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、地域の輪を広げる取組を実施します。</p> <p>1 青少年交流活動推進事業 (1)鶴見区子どもサマーキャンプ事業 小学生の自然体験活動の機会の充実と異年齢交流の促進のため、主催の鶴見区子ども育成会連絡協議会に対し補助金を交付します。また、本事業を通じて、中高生からなる鶴見区ジュニアリーダーズクラブの育成を支援します。 実施：11月</p> <p>(2)青少年育成サイエンス交流事業 横浜サイエンスフロンティア高等学校と連携し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と高校生との異年齢間交流により、ともに育ち合う機会を創ります。 実施：10月（2回）</p> <p>2 つるみ子育て・個育ちフォーラム支援事業 区内の青少年に関わる団体・機関からなる「つるみ子育て・個育ちフォーラム」運営委員会に対し、補助金を交付します。 実施：11月</p> <p>3 青少年の居場所運営支援事業 地域・団体等による青少年の居場所運営の取組に対し、補助金を交付します。（1事業の上限は13万円です。） 対象：区内4事業</p>

【局事業】 よこはま東部ユースプラザの運営補助 (こども青少年局)

地域において不登校やひきこもり状態などにある青少年(15歳~39歳)の自立を支援する「地域ユースプラザ」の運営費を補助します。

(事業内容)

地域における総合相談(電話相談、来所相談等)、ひきこもり状態からの回復期にある青少年の居場所の運営、社会体験や就労体験プログラムの実施、地域の関係支援機関・区役所とのネットワークづくり、応援パートナーの養成、派遣等

【局事業】 ひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談 (こども青少年局)

青少年相談センター所管の補助事業として、鶴見区では東部ユースプラザの地域連携相談員が、毎月2回(第2・第4の水曜日午後)、区役所で相談支援を行います。

支援対象者は横浜市在住で、ひきこもり等の困難を抱える若者15歳から39歳の方とその家族です。

<相談までの流れ>

受付方法：事前に電話等で予約

相談時間：13：30~16：20(各50分・3枠)

当日受付：鶴見区役所3階 こども家庭支援課4番窓口

【区配事業】 寄り添い型生活支援事業 (こども青少年局)

◇つるみ元気塾

生活困窮や養育困難等の課題を複合的に抱えた世帯の小中学生に対して、自信・達成感・肯定感をもたせ、円滑な学校生活を送るための支援・生活体験・総合的な支援を行う支援施設「つるみ元気塾」を運営し、必要な支援等を行います。

【区配事業】 寄り添い型学習支援事業 (健康福祉局)

◇つるみ未来塾(小・中学生対象)

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある子どもたちの将来の自立に向けた基盤づくりのため、中学1~3年生を対象に高等学校等への進学に向けた学習支援を行います。

また、小学生5・6年生を対象に個別学習の場の提供を開始します。

◇つるみプラス(高校生世代対象)

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある高校生の中途退学防止のための居場所づくり事業を行います。また、高校生世代(概ね15歳から18歳)の子どもを対象に、社会生活に必要な情報や体験の機会を提供する事業を行います。

<p>24 鶴見区環境行動推進事業</p> <p>R 3 (1,152 千円) R 2 (1,152 千円) 差引 (0 千円)</p>	<p>地域、事業者、区民活動団体との連携を一層強め、環境行動の啓発活動を推進します。</p> <p>1 環境行動PR事業 (1)環境行動のPR (普及啓発) 温暖化対策をはじめとした環境行動が、家庭、地域や団体で浸透していくよう、地域で行われる各種イベント等においてPRを実施します。 ◆5月の三ツ池公園フェスティバル及び8月の豊岡商店街打水イベントでのPRは中止。</p> <p>(2)企業等と連携した区内小中学校向け出張授業・工場見学 民間企業等が実施する環境や社会をテーマとした出張授業・工場見学の内容を冊子として取りまとめ、区内の小中学校に配布し、授業での活用を促します。</p> <p>2 鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議 実施：6月</p> <p>3 緑のカーテン事業 緑化や省エネ化の促進のため、引き続き、区庁舎及び土木事務所の緑のカーテン、並びに区庁舎の壁面緑化を実施します。 (1)緑のカーテン 実施：5～11月 場 所：区庁舎、土木事務所 (2)壁面緑化 場 所：区庁舎壁面</p>
<p>25 つるみクリーンタウン事業</p> <p>R 3 (3,623 千円) R 2 (2,927 千円) 差引 (696 千円)</p>	<p>横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」の目標である3R、特にごみと資源のリデュース(発生抑制)による脱温暖化を推進するため、普及・啓発活動を区民と共に推進します。</p> <p>1 ヨコハマ3R夢推進事業 3Rの推進につながる、分別、食品ロスの削減やプラスチックごみの削減に向けた普及、啓発活動を進めます。</p> <p>(1)区民向けイベントでの3R啓発 ア 三ツ池公園フェスティバル(5月)◆中止 イ つるみ臨海フェスティバル(10月)◆中止 ウ つるみ3R夢フェスタ(7月) エ つるみ夢ひろば in 総持寺(11月) ほか</p>

(2)食品ロス削減に向けた普及啓発活動

区役所常設の食品回収箱をはじめ、区内各所でフードドライブ活動を実施・支援します。

(3)保育園等での環境学習

次代を担う子どもたちに、3Rやプラスチックごみの問題等を知ってもらい、環境に対する意識を高めるため、出前講座を行います。

実施：小学校2校（6、7月）、保育園1園（9月）

(4)生ごみ堆肥化の普及啓発

生ごみの減量を目的とした環境にやさしい土づくり（土壌混合法）の普及に向けて、公共施設や保育園等での出前講習を行います。

(5)鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議

実施：6月 <24-2（P.69）再掲>

(6)分別相談対応

生活様式の変化による家庭ごみの増加や、外国人市民が多いことも踏まえて、多言語版ちらし等を活用するなど、分別相談・啓発を行います。

2 鶴見区クリーンアップ事業

地域清掃の支援、不法投棄防止に向けた啓発を実施します。

(1)鶴見クリーンキャンペーン

地域の各団体（自治会町内会、老人会、企業、学校等）へごみ袋や軍手を配布し、地域の清掃活動を支援します。

実施回数：年2回

(2)まちかど花壇事業

不法投棄を防止し、「明るく、きれいな街」にするため、花苗を配布し、地域の花壇整備を支援します。

実施：春・秋（年2回）

参加者：全12団体

(3)鶴見川クリーンキャンペーン

鶴見川桜・緑化実行委員会の主催で、地域と共に鶴見川流域の清掃活動を行います。

実施：6、10月（年2回）

(4)喫煙マナー啓発

ポイ捨てや歩きたばこを防止するため、喫煙禁止区域を中心にマナー啓発を行います。

<p>【局事業】不法投棄防止対策事業 (資源循環局)</p> <p>不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行います。</p>	
	<p>(5)道路ふれあい月間 鶴見駅周辺地域で、地域の方や周辺事業者と協働し、打ち水や大規模な一斉清掃、道路に関するPR活動を行います。 実施：8月 ◆実施中止。</p>

道路局・環境創造局の主な局事業及び区配事業

【局事業】踏切対策 (道路局)
「横浜市踏切安全対策実施計画」(平成28年3月)に基づき、生見尾踏切、古市場踏切及び八丁畷第1踏切の安全対策を実施します。

【局事業】末吉橋架替事業 (道路局)
令和3年2月から順次、歩道・車道を仮橋に切り替え、令和3年度は、旧橋の撤去工事等を進めます。

【局事業】(仮称)鶴見川人道橋整備事業 (道路局)
令和3年11月から工事着手できるように、設計や河川管理者との協議を進めると同時に、発注手続きを行います。

【局事業】無電柱化推進事業 (道路局)
都市の防災力の向上や安全で快適な歩行空間の形成に向けて、緊急輸送路である環状2号線や鶴見溝ノ口線などについて電線共同溝の整備を進めます。

【区配事業】公園再整備事業 (環境創造局)
整備後一定期間が経過している生麦公園及び小野第三公園について、再整備工事を実施します。

【区配事業】公園施設改良事業 (環境創造局)
栄町公園ほか12公園について、遊具やベンチなどの施設改良工事を実施します。

【局事業】下水道整備工事 (環境創造局)
令和3年度より状態監視保全により鶴見地区、矢向地区及び末吉地区で下水道の再整備工事を実施します。

4 区民サービスの向上

事業名（予算額）	事業概要
<p>26 鶴見区広報・広聴事業</p> <p>R 3 (2,869 千円) R 2 (2,869 千円) 差引 (0 円)</p>	<p>区民のライフスタイルの多様化に对应、必要な情報が的確に届くよう様々な媒体を活用し、多角的な広報事業を展開します。</p> <p>また、区民ニーズや地域の課題を把握し区政運営に反映させることを目的に広聴事業を展開します。</p> <p>1 ホームページ等その他広報事業</p> <p>(1) 区ホームページを管理運営し、各種情報を発信します。</p> <p>(2) 地域情報紙を活用して感染症対策啓発などに関する情報提供を行います。【拡充】</p> <p>(3) 鶴見区のマスコットキャラクター『ワックン』を活用し、区のPRを展開します。</p> <p>2 「つるみ生活・防災マップ」等発行事業</p> <p>(1) つるみ生活・防災マップ 発行：12月 <1-2(2)(P.43)再掲> 部数：17,000部</p> <p>(2) 鶴見区バスマップ 発行：3月 部数：9000部</p> <p>3 広聴事業 横浜市の広聴制度に基づき、区民や地域の声を収集します。 広聴受付件数〔令和2年度：734件〕</p>
<p>27 発見つるみ！～データでみる鶴見区～</p> <p>R 3 (520 千円) R 2 (799 千円) 差引 (△279 千円)</p>	<p>鶴見区に親しみを持っていただけるよう、区の概要や各種統計データをコンパクトにわかりやすくまとめた冊子及び戸籍課窓口等で配布するための概要版（A4版1枚）を発行します。</p> <p>各種統計データは、利用者が活用しやすいようホームページにオープンデータを掲載しています。</p> <p>発行：3月 部数：冊子 1,500部 概要版 5,000部</p>

<p>28 鶴見区人材育成 推進事業</p> <p>R 3 (3,086 千円) R 2 (2,986 千円) 差引 (100 千円)</p>	<p>全職員が鶴見区に対する愛着を持ち“チームつるみ”の一員としてより一層意欲・能力を發揮できるよう人材育成に取り組むとともに庁内のコミュニケーション・情報共有を促進し、業務効率化を図ります。</p> <p>また、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、広報誌の活用等による人権啓発に取り組めます。</p> <p>1 人材育成推進 人材育成や人権啓発、職員企画・提案型など様々な研修を通して、職員として必要なスキルの習得や意識改革を進めます。</p> <table border="1" data-bbox="555 645 1431 1021"> <thead> <tr> <th>研修</th> <th>実施内容等</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">①窓口サービス向上</td> <td>外部評価（専門家）</td> <td>5月～随時</td> </tr> <tr> <td>満足度調査（来庁者アンケート）</td> <td>10月～随時</td> </tr> <tr> <td>全課横断窓口応援</td> <td>3月～4月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②人権啓発研修</td> <td>責任職グループ研修</td> <td>6月～2月</td> </tr> <tr> <td>職員向け研修</td> <td>6月～随時</td> </tr> <tr> <td>③職員企画・提案型研修</td> <td>テーマ募集・研修実施</td> <td>6月～随時</td> </tr> <tr> <td>④改革推進委員会</td> <td>委員募集・取組実施</td> <td>通年</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人権啓発 区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権に対する理解を深める機会を創出するため、広報誌の積極的な活用等により、職業差別に係る啓発を重点テーマとした市民向けの人権啓発を行っていきます。</p> <p>3 ICTの活用促進 ペーパーレスの促進やWeb会議の導入に向け、パソコン等のICT機器の管理・運営等の環境整備を進めます。</p>	研修	実施内容等	実施時期	①窓口サービス向上	外部評価（専門家）	5月～随時	満足度調査（来庁者アンケート）	10月～随時	全課横断窓口応援	3月～4月	②人権啓発研修	責任職グループ研修	6月～2月	職員向け研修	6月～随時	③職員企画・提案型研修	テーマ募集・研修実施	6月～随時	④改革推進委員会	委員募集・取組実施	通年
研修	実施内容等	実施時期																				
①窓口サービス向上	外部評価（専門家）	5月～随時																				
	満足度調査（来庁者アンケート）	10月～随時																				
	全課横断窓口応援	3月～4月																				
②人権啓発研修	責任職グループ研修	6月～2月																				
	職員向け研修	6月～随時																				
③職員企画・提案型研修	テーマ募集・研修実施	6月～随時																				
④改革推進委員会	委員募集・取組実施	通年																				
<p>29 魅力ある区役所づくり事業</p> <p>R 3 (13,426 千円) R 2 (15,038 千円) 差引(△1,612 千円)</p>	<p>区民の多様なニーズに的確に対応できるよう、清潔かつ快適な区役所環境の整備を図り、区民が利用しやすい区役所の実現を目指します。また、感染症対策のための消毒・換気等の対応を促進します。</p> <p>乳幼児を伴って区役所を利用される方の利便性を向上するため、区役所1階の託児施設（キッズランド）において、月・水・木曜日の8時50分から16時10分（12時から13時までを除く）までの必要な時間、乳幼児を預かります。</p>																					

令和4年度 鶴見区予算編成について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民生活や経済活動が大きな影響を受けていることを踏まえ、時代に即した対応が必要になってきます。

令和4年度の鶴見区予算では、従来の4本の柱を中心に、誰もが“いつまでも住み続けたいまち”とともに、誰もが“安心して、安全に暮らせるまち”を目指します。また、社会情勢に合った、非参集・非接触やデジタル化推進対応等のニーズを踏まえながら、施策のアクセントとバランスを重視し、事業の検討を進めていきます。

1 地域力の強化

- ・地域の防災力向上に寄与する自助・共助の取組を積極的に支援し「災害に強いまちづくり」を進めます。
- ・防犯・交通安全対策や「見守りの輪」の推進など、「地域力やつながりを育むまちづくり」を進めます。

2 区内経済・活力の向上

- ・コロナ禍において停滞した地域交流や経済の活性化、地域が主役となって進める賑わいづくりなど、「鶴見の魅力を活かしたまちづくり」を進め、その魅力を内外に発信することにより、より一層のまちの活性化を目指します。
- ・多くの外国人が暮らすまちとして、誰もが安心して暮らせる「多文化共生のまちづくり」を進めます。

3 子どもから大人まで安心・元気に

- ・身近な地域での子育て支援や健康づくりなどの取組をより充実させ、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を進めます。

4 区民サービスの向上

- ・区民に最も身近な行政機関として、区役所をはじめとした区内の各事業所において、丁寧でわかりやすい対応を心掛け、「おもてなしの気持ちあふれるサービス提供」を進めます。
- ・コロナ禍においても区民が安心して来庁できる区役所を目指した取り組みを進めます。

令和2年度 新型コロナウイルスに伴う
業務の見直し状況（自主企画事業）

参考資料

	事業	内容	予定	対応	頁
1 地域力の強化	1 防災活動推進事業 【重点】	1 (3) 臨海フェスティバルにおける啓発活動	10月	中止	5
		(5) ア 地域防災拠点参与研修	5月	書面開催	6
		イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会	5月	書面開催	6
		2 (1) 区本部訓練 職員研修	9月 7～8月	規模を縮小して実施	6
		3 (1) 市医療局との通信訓練	偶数月	6月まで中止。8月から再開	7
		(2) 鶴見区災害医療連絡会議	9・12・3月	書面開催	7
		(3) 鶴見区災害医療訓練	1月	連絡会議構成団体を中心とした通信訓練に限定して実施	7
	3 交通安全推進事業	1 (2) ア 区交通安全対策協議会幹事会 区自治連合会交通部連絡協議会	2回(6月・9月)	中止	9
		(3) ア はまっこ交通教室	区内小学校22校	9月以降に実施	9
		イ チリリンスクール	区内小学校22校、その他保育園・幼稚園	9月以降に実施	9
		ウ 自転車事故防止の安全教室・講習会	企業・団体、自治会・町内会など	9月以降に実施	9
		2 学校への支援		7月以降に実施	9
	4 鶴見区防犯活動支援事業	2 (3) 児童下校時見守り活動	毎月	4～6月は中止	10
	5 自治会町内会振興事業	1 地域振興連絡事業	毎月(8月除く)	4～5月、1～2月は書面開催	11
		2 自治会町内会長感謝会	3月	感謝会は中止。感謝状・記念品のみ宅配。	11
	7 鶴見・あいねっと推進事業	2 第4期計画の策定		次年度へ延期	13
		(1) 地区別計画の策定		次年度へ延期	13
		(2) 区計画策定検討会	6・11・2月	中止	13
		(3) 区民意見の募集及び反映	10～11月	計画策定進行休止により実施を延期	13
		3 あいねっと推進フォーラム	3月	中止	13
8 「広げよう見守りの輪」推進事業	1 定期訪問・見守り活動の拡充		8月～3月は配付チラシ等の企画を中止	14	
2 区内経済・活力の向上	10 多文化のまち・つるみ推進事業	2 市民通訳ボランティアの配置	週1回	4月～2月は中止	15
		3 多文化共生社会の実現に着けた啓発事業		中止	15
		4 鶴見国際交流ラウンジ運営事業		・4～5月は電話・メールによる相談対応のみ、6月から対面実施。 ・6月から教室やイベントを実施方法を変更し実施	16
		(2) イ 学習支援教室		小・中学生クラスは6月からオンライン教室実施、7月中旬から対面教室実施	16
		ウ 外国人区民と日本人区民交流イベント		6月の「サルビアわんぱく☆ランド」は中止	16
		(3) 市民の多文化共生に関する活動支援	4～5月	4～5月は貸出中止。6月から貸出開始	16
	12 鶴見区民まつり支援事業	1 三ツ池公園フェスティバル	5月16日	中止	18
		2 つるみ臨海フェスティバル	10月17日	中止	18
	13 地域文化・区民活動推進事業	2 (1) つるみ区民活動センター事業 相談・コーディネート・機材貸出	随時	利用制限	19
		(2) ア つるみ区民活動センター情報紙「あぶりお」発行	年6回(8,250部)	配架施設休館に伴い発行部数減	19
		(3) 講座・イベント		「つるみMACHI塾」、「つるみ楽たいむ」は日程延期・人数縮小して実施	19
	14 区民スポーツ振興事業	2 鶴見区ランニングフェスタ		中止	20

	事業	内容	予定	対応	頁	
3 子どもから大人まで安心・元気に	15 ヘルスアッププラン【重点】	1 (1) 子育て世代への健康啓発	6～12月	中止	21	
		2 (1) 親子わくわく歯っぴい講座	年12回	4～6月は中止	21	
		(2) 歯と口の健康週間イベント	6月	中止	21	
		両親教室での啓発	月1回	4～6月は中止	21	
		3 (1) 食育イベント及び食育研修会		中止	21	
		(2) 幼児の食育講座	年6回	個別相談に切り替え実施	22	
		(3) 食育ミニ講座	年36回	中止	22	
		(4) 離乳食教室	年12回(合計24回)	4～6月、1～3月は中止	22	
	4 鶴見区健康づくり推進会議		中止	22		
	16 感染症対策事業	1 (2) 感染症対策区内施設向け啓発	8月	内容にコロナを追加	22	
		(2) 感染症対策指導者養成研修	11月(1回)	書面開催	22	
		2 (1) 新型インフルエンザ等対策区民向け啓発	通年	内容にコロナを追加	22	
		(2) 区職員向け研修・訓練	10月	中止	23	
	17 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	1 (1) 鶴見区地域自立支援協議会	代表者会議：年1回 担当者会議：年3回	代表者会議は書面開催。担当者会議1回及び専門部会4回を中止。	23	
		(2) 研修	年3回	1回中止	23	
		2 (1) 障害者週間イベント	12月	福祉施設の自主製品販売・街頭啓発は中止。パネル展を実施。	24	
		(2) 啓発グッズの作成		グッズ作成は中止。福祉施設の自主製品PR用DVDの制作・上映を実施。	24	
	18 鶴見区高齢者はつつ生活応援事業	1 (2) 認知症体験型講座	2月	中止	24	
	19 つるみDE子育て応援事業	1 地域育児教室	月1回程度	4～6月は中止	25	
	20 つるみの未来を育てる保育所事業	3 (1) 市立保育所園庭開放		4～6月は中止	27	
		(2) 保育所地域ふれあい事業	6月～2月	中止	28	
	22 生活衛生サポート事業	3 (2) ア 適正飼育講習会	8月	2月に延期	31	
		イ 地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発		各地域防災拠点訓練の中止に伴い中止	31	
	23 青少年健全育成事業	1 (1) 鶴見区子どもサマーキャンプ事業	8月	中止	31	
	24 鶴見区脱温暖化行動推進事業	1 (3) 地域での啓発活動		エコ・クッキング教室は中止。地域でのイベント中止に伴いPR活動も中止。	33	
	25 つるみクリーンタウン事業	1 (1) ア 啓発キャンペーン(三ツ池公園フェスティバル・つるみ臨海フェスティバル)	5・10月	中止	34	
		イ 啓発キャンペーン(つるみ夢ひろばin總持寺ほか)	11月ほか	中止	34	
		(3) ア 生ごみたい肥化講習会	年12回	中止	35	
		2 (1) 鶴見クリーンキャンペーン	6～7月、10～11月	6～7月実施分を中止	35	
		(2) まちかど花壇事業	春・秋(年2回)	春の実施分を中止	35	
		(3) 鶴見川クリーンキャンペーン	6月、10月	6月実施分を中止	35	
		(4) 喫煙マナー啓発事業	年9回	中止	36	
		(6) 道路ふれあい月間	8月	中止	36	
	区民サービスの向上 4	28 鶴見区人材育成推進事業	1 人材育成推進(窓口サービス向上研修)	5月～随時	外部評価(専門家)は中止	39
			2 人権啓発講演会の開催	12月	講演会は中止。人権啓発コラムの広報紙掲載を実施。	39

令和3年度 新型コロナウイルスに伴う
業務の見直し状況（自主企画事業）

参考資料

事業	内容	予定	対応	頁
1 地域力の強化				
1 防災活動推進事業【重点】	2 (1) ア 区役所職員研修 区災害対策本部訓練の実施	7～12月 1月	動画配信や規模縮小で実施予定	43
2 区内経済・活力の向上				
10 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	2 市民通訳ボランティアの配置	週1回（金曜日）	13時～17時 時間を短縮	52
12 鶴見区民まつり 支援事業	1 三ツ池公園フェスティバル	5月	中止	55
	2 臨海フィスティバル	10月	中止	55
14 区民スポーツ振興事業	2 鶴見区ランニングフェスタの開催支援	12月	中止	57
3 子どもから大人まで安心・元気に				
20 つるみの未来を育てる保育所事業	2 (2) 保育所地域ふれあい事業	6月～2月	休止中	64
22 生活衛生サポート事業	1 (1) ノロウイルスによる食中毒の予防		立入指導の縮小、出前講座の中止	66
	(2) 食肉を原因とした食中毒の発生防止		立入指導の縮小	66
	3 (2) ア 犬猫の適正飼育講習会の開催	8月	延期	67
24 鶴見区環境行動推進事業	1 (1) 環境行動のPR（普及啓発）		5月の三ツ池公園フェスティバル及び8月の豊岡商店街打水イベントでのPRは中止	69
25 つるみクリーンタウン事業	1 (1) ア・イ 啓発キャンペーン（三ツ池公園フェスティバル・つるみ臨海フェスティバル）	5月・10月	中止	69
	2 (5) 道路ふれあい月間	8月	中止	69
4 区民サービスの向上				
該当なし				

【議題1】

令和2年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算について

【議題2】

令和2年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費等決算について

個性ある区づくり推進費

(単位:千円)

区 分	予算	決算	差引
個性ある 区づくり推進費	899,599	892,234	7,365
自主企画事業費	109,209	107,162	2,047
一般管理費	790,390	785,072	5,318

個性ある区づくり推進費

(単位:千円)

区 分	予算	決算	差引
個性ある 区づくり推進費	899,599	892,234	7,365
自主企画事業費	109,209	107,162	2,047
一般管理費	790,390	785,072	5,318

自主企画事業費

区が独自に企画・執行する事業に係る経費

(単位:千円)

区 分	予算	決算	差引
自主企画事業費	109,209	107,162	2,047
地域力の強化	32,337	31,331	1,006
区内経済・活力の向上	35,384	21,588	13,796
子どもから大人まで安心・元気に	19,796	16,988	2,808
区民サービスの向上	21,692	37,256	-15,564

【政策分野1】地域力の強化

災害に強いまちづくり、地域のかやつながりを育むまちづくり
(単位:千円)

予算	決算	差引
32,337	31,331	1,006

主な差引理由

- あいねっと第4期計画策定事業の休止による残(1,287千円)
- 自治会町内会会長感謝会中止による残(845千円)
- 民生委員・児童委員等、見守り活動者への衛生用品(マスク、消毒液等)配布による増(△426千円)

「防災活動推進事業」(事業番号1)

(単位:千円)

予算	決算	差引
12,162	16,591	△ 4,429

主な差引理由

- 衛生用品(マスク、消毒液等)の購入による増(△4,130千円)
- まるごとまちごとハザードマップ浸水深テープ貼付による増(△740千円)
- 生活防災マップデザイン内容見直しによる減(1,421千円)

「防災活動推進事業」

- 自助・共助推進事業
 - ・ つるみっこ防災塾
(小学校高学年向け防災教室)
6校開催



- ・ 「まるごとまちごとハザードマップ」
鶴見川又は多摩川の洪水時、最も高いと想定される河川の浸水深を青テープにて表示

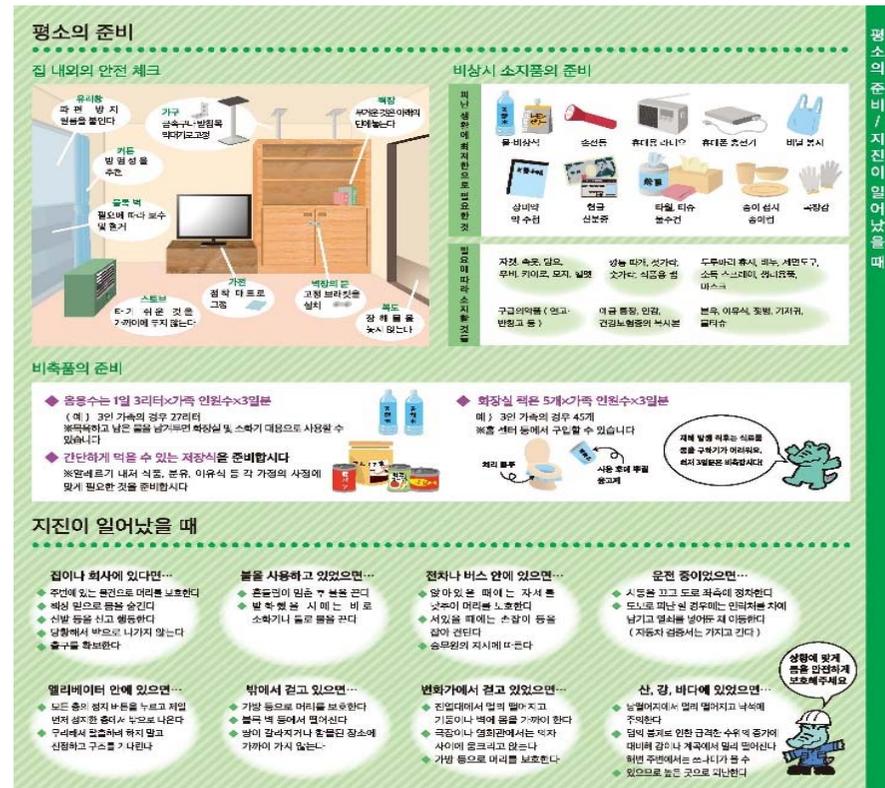


「防災活動推進事業」

● 区本部機能等強化事業 生活・防災マップ多言語版 (7言語)を作成

【2年度】
スペイン語、ベトナム語

【元年度】
タガログ語、ポルトガル語、
英語、韓国語、中国語



△ 翻訳内容

- ・日頃の備え
- ・地震が起きたとき
- ・揺れが落ち着いた後
- ・津波への備え

【政策分野2】区内経済・活力の向上

多文化共生のまちづくり、鶴見の魅力を活かしたまちづくり

(単位:千円)

予算	決算	差引
35,384	21,588	13,796

主な差引理由

- 「千客万来つるみ」プロモーション事業の集客イベント等中止による残(3,377千円)
- 三ツ池公園フェスティバル及び臨海フェスティバル開催中止による残(3,700千円)
- 区民文化祭の一部中止による残(966千円)

「多文化のまち・つるみ推進事業」(事業番号10)

(単位:千円)

予算	決算	差引
14,711	12,959	1,752

主な差引理由

- ・ 啓発事業の中止及び市民通訳ボランティアの配置期間縮小による残(1,181千円)
- ・ Facebook等(外国語)について既存翻訳データの活用による翻訳費の減、及び翻訳費の入札残(1,351千円)

「多文化のまち・つるみ推進事業」

●継続

- ・Facebook等による生活情報の多言語発信(7言語)
- ・窓口における多言語通訳タブレット端末の活用
→ 215件(元年度比 +8件)(6課7台配置)

●縮小継続

- ・市民通訳ボランティア(中国語)の配置
(4月~2月 休止、3月金曜日のみ実施)
→ 20件(元年度比 ▲334件)

●拡大・新規

- ・多言語翻訳機(ポケットーク)の追加設置
→ 設置台数:101台
設置場所:民間保育所(38施設)及び区役所窓口及び地域防災拠点等(63台)
- ・区内行政資料の一括翻訳
→ 実施件数:17件
翻訳例 :マイナンバー通知カードのお知らせ、差押事前通知書、児童健康台帳 等



タブレットを活用した窓口相談

保育所でのポケットークの活用

「多文化のまち・つるみ推進事業」

鶴見国際交流ラウンジ

●継続 多言語(7言語)による相談対応・情報提供

- ・「国際交流ラウンジニュース」の発行(年4回)
- ・ホームページ、Facebookでの情報発信

●縮小継続 各種教室の実施

- ・託児付日本語教室、暮らしのガイダンス→延べ14回実施、参加者:延38組
- ・学習支援教室(小・中学生夏休み宿題教室・中3向け受験対策教室)
- ・外国人と日本人の交流イベント→5回開催、参加者:延83人
- ・日本語ボランティア養成講座→入門講座9回、ブラッシュアップ講座4回

※令和2年3月～5月まで休止

●新規【区局連携促進事業】機能強化事業の実施

コーディネーターが外国人集住地域の8保育園を訪問し、状況及びニーズ調査を実施。
令和3年度はラウンジ利用者増を図るためのPR、自治会町内会との連携による外国人と日本人の交流イベント開催、キーパーソンの発掘と人材育成などを行います。



わっくん広場での暮らしのガイダンス

【政策分野3】 子どもから大人まで安心・元気に 福祉のまちづくり

(単位:千円)

予算	決算	差引
19,796	16,988	2,808

主な差引理由

- こども家庭総合支援拠点の開設に向けた什器等の購入による増(△1,128千円)
- 子どもサマーキャンプ中止による残(540千円)
- クリーンアップ事業休止による消耗品費等の減(1,271千円)
- ボランティア等の活動休止のため、鶴見川の清掃委託による増(△667千円)

「ヘルスアッププラン」(事業番号15)

(単位:千円)

予算	決算	差引
4,027	1,898	2,129

主な差引理由

- 講座・教室の縮小、会議の中止による残(812千円)
- 印刷製本の入札残(998千円)
- 絵本作成時の委託単価の減による残(406千円)

「ヘルスアッププラン」

● ComeCome(噛む噛む)元気大作戦！

歯周病・オーラルフレイル予防の一環として、
絵本『ワックんのはみがきするよ!!』を発行、
区ホームページに掲載

(3年度 ケアプラザ、地区センター、保育園等に配布予定)



2年度決算

「ヘルスアッププラン」

区歯科医師会と連携し8020を達成に向け、
歯を失う原因で最も多い歯周病の予防のため
に、ステッカーを配布し、歯周病検診実施
医療機関をPR
(区内69カ所)

当クリニックは横浜市歯周病検診実施医療機関です(予約制)

歯周病検診やっています。

40・50・60歳 **500円**
70歳はなんと**無料!**



歯周病は歯が抜けてしまう原因の第一位。
歯周病検診では歯や歯周組織の状態をチェックします。
歯をまもるため定期的に健診とクリーニングを受けましょう。

「Come Come 元気大作戦!」は、
鶴見区が行う歯科保健事業を一体的に推進する取り組みです。
【問合せ】鶴見区福祉保健課健康づくり係 ☎510-1831

【政策分野4】区民サービスの向上

おもてなしの気持ちあふれるサービス提供

(単位:千円)

予算	決算	差引
21,692	37,256	△15,564

主な差引理由

- 窓口用アクリル衝立版等を購入による増(△5,045千円)
- 庁内消毒作業委託による増(△1,404千円)
- Web講演会用等の会議室のスクリーン設置委託等による増(△2,812千円)
- Web会議用PCの購入による増(△2,233千円)

個性ある区づくり推進費

(単位:千円)

区 分	予算	決算	差引
個性ある 区づくり推進費	899,599	892,234	7,365
自主企画事業費	109,209	107,162	2,047
一般管理費	790,390	785,072	5,318

一般管理費

(単位:千円)

区 分	予算	決算	差引
一般管理費	790,390	785,072	5,318
統合事務費	34,050	30,961	3,089
統合事業費	21,028	15,970	5,058
区庁舎・区民利用施設 管理費	735,312	738,140	-2,828

【議題3】

令和3年度個性ある区づくり推進費
自主企画事業費等執行状況等について

会議資料40ページから

地域の課題解決事業(事業番号6) 予算:500千円

地域の課題解決に取り組む団体等が、新たな活動を始めるためのスタートアップを支援する補助金(新規)

●補助対象

- (1)事業開始から3年以内のもの
- (2)既存の事業の発展を図る取組

●補助金額(補助率)

- 1年目:上限10万円(9/10)
- 2年目:上限5万円(5/10)
- 3年目:上限3万円(3/10)

地域の課題解決事業

補助金交付団体

①ふるさと寺尾実行委員会

自治会町内会と連携し、地域イベントを企画・実施
(川柳コンテストなど)

②馬場チルドレン

地域の小学生以下を対象に休日を利用した
レクリエーション活動を企画、実施(ウォークラリーなど)

③生麦盛り上げ隊

生麦駅周辺や安養寺参道にてテイクアウト主体の
マルシェを開催

④横濱つるみきもの倶楽部

着物体験を通じて、多文化共生や世代間交流を図る

⑤つるみmachiづくりの会

つるみmachiミーティングの集客力や認知度向上のため、HPやラインなど情報発信力を強化する



ふるさと寺尾実行委員会の活動
引用:タウンニュース2021/4/15号

区民まつり支援事業(事業番号12) 予算:3,700千円

● 三ツ池公園フェスティバル

緊急事態宣言等により会場である県立三ツ池公園が利用休止のため中止を決定。

なお、諸団体が連携する機会の創出、行事開催ノウハウの伝承等を図るため、一部の地区連合で、代替イベントを検討中

● 第31回 つるみ臨海フェスティバル

感染症拡大防止のため中止を決定。

なお、同フェスティバルの主旨を踏まえ、一部の地区では、地元の街区公園において地域活性化につながる取組を検討中。

高齢者はつらつ生活応援事業(事業番号18)

予算:1,374千円

● 介護予防事業

・横浜市歯周病検診(70歳 無料)の機会を活用した、オーラルフレイル予防の普及啓発と歯科医師等による個別指導を実施。

⇒70歳の高齢者 3,185人に、6月末、歯周病検診(無料)について個別通知を発送

● 認知症普及啓発事業

・認知症サポーター等、地域の支援者向け研修会

「認知症予防スリーA研修」の実施(6・7月実施 51名参加)

【スリーAとは】研修のモットーである

(A)あかるく、(A)あたまを使って、(A)あきらめないの頭文字

・認知症キャラバン・メイト等のフォローアップを目的とした

VR(バーチャルリアリティ)を利用した体験型講座(年内実施予定)

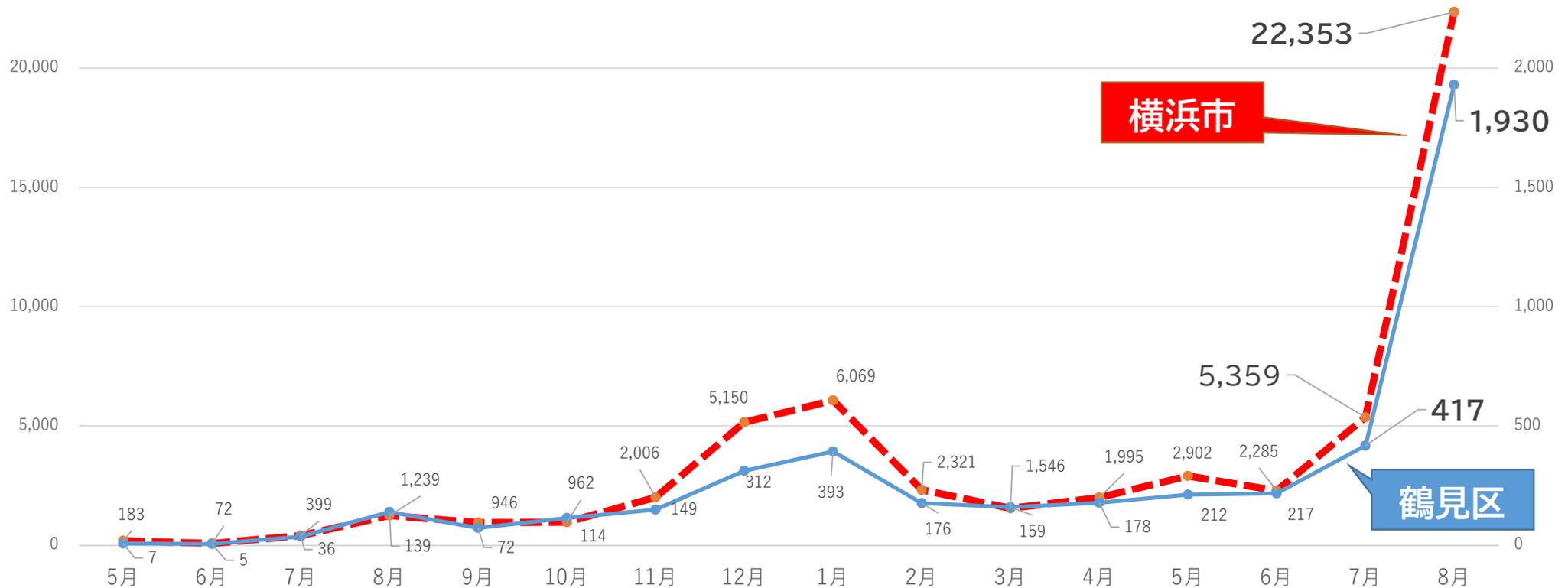


令和3年度版 鶴見区オリジナル
ご案内チラシ

～新型コロナウイルス対策関連～

3年度執行状況(新型コロナウイルス関連)

月別感染者数(令和2年5月～現在)



令和3年7月下旬から急増

【鶴見区】1週間当たり最大数 8月20～26日 635人

累計5,130人 18区中、港北区に次いで2番目

10万人あたり累計感染者数 5番目

福祉保健課の体制

今年度 正規職員 26名(うち医療職8名)
会計年度職員、人材派遣 7~10名 休日3名(事務、医療職)

7月後半~ 生活衛生課職員が随時応援(施設調査など)

8月初旬~ 他課の保健師(1日2名)及び区役所各課から職員の応援開始

8月12日~ 他局の職員の応援開始(現在までのべ5名)

8月23日~ 他課係長の応援専従配置開始 2名

※現時点で生活衛生課、他課の保健師と事務職員等、局職員など
毎日20名以上が応援従事

ワクチン接種の状況

全市接種対象者:342万人(65歳以上97万人 64歳以下245万人)

●8月31日現在の総接種者数 1,843,017人
横浜市ホームページより

●鶴見区の集団接種会場

・公会堂

5月19日から9月5日まで63日の稼働

・スポーツセンター

6月1日～8月29日まで75日稼働

なお、9月23日から公会堂で64歳以下を対象に集団接種開始

⇒ 接種日は木・土・日曜

実施時間木・土は19時15分まで、日は15時30分まで

主な見直し事業

中止:区民まつり(三ツ池公園フェスティバル、臨海フィスティバル、)
大黒ふ頭でのイベント

延期:第4期鶴見区地域福祉保健計画の策定作業一旦停止

代替:災害対策本部訓練(職員等対象) ⇒ 動画研修で実施
※このほか影響のあった事業は別添の「参考資料」として添付

現時点で約360万円の事業予算の変更あり



- ・区民まつりに代わり、地域一体感醸成の代替イベントを検討中
- ・商店街等の活動活性化に向けた事業の実施
- ・保育・コンシェルジュのオンライン相談開始に伴う機器整備

現時点で約330万円の事業予算を新たに活用予定

鶴見花月園公園について

○令和3年11月中の供用開始を予定

※新型コロナウイルス感染状況などを鑑み、式典は行いません。

○周辺の自治会、17連合会長等を対象に、開園前に視察会を実施

※区選出議員の皆様にも、事前視察を予定しています。

日程:9月21日(火)・22日(水)夕方(調整中)

○「広報よこはま鶴見区版 特別号」を発行し、公園を紹介

その他 鶴見花月園公園の開園

③からの眺望



大階段 (①と③の間)



②多目的広場



健康器具

